

小牧市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況  
の点検及び評価の結果に関する報告書

第1 点検及び評価の対象及び実施日

対 象 令和3年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び  
執行の状況

実施日 令和4年7月12日

第2 点検及び評価の方法

教育委員会事務局において、令和3年度教育委員会基本方針に掲げた重点施策について、令和3年度実績をまとめた点検評価シートを作成した。当該点検評価シートを外部の学識経験者等からなる評価委員会に諮り、教育委員会にて議決した。

第3 点検及び評価の結果

点検評価シート（令和3年度実績）に記載

## 令和3年度の重点施策

### 基本目標1 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実

- ④ 人と関わり合いながら学ぶ「学び合う学び」を進め、様々な課題に関心を持って主体的に学ぶことで、確かな学力を育みます。
- ④ 理数教育や国際教育などを充実し、未来にはばたく人材を育成するとともに、特別支援教育や外国人児童生徒への教育を推進します。

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	「学び合う学び」を支える教員研修の実施（施策1）	担当課 学校教育課																																								
内 容	「学び合う学び」を土台に据えた学級・授業づくりに役立つ実技講座や児童・生徒理解、指導にかかわる研修を効率的・効果的に実施します。																																									
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校において、教員が学級や授業づくりに活用できる知識や経験を学び合うため、校内授業研修等を実施するとともに、OJTの充実に努めました。</li> <li>・教育委員会において、「学び合う学び」を土台に据えた様々な実技研修や座学研修を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できないものが多くありました。</li> <li>・専門研修の1講座と教育講演会については、オンライン開催としました。</li> <li>・児童生徒1人1台端末の整備に合わせて、ICT機器の操作・活用研修を小中学校の全教職員を対象に実施しました。</li> </ul> <p>◆主な研修の種類</p> <table border="1" data-bbox="486 1451 1377 1944"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研修項目</th> <th colspan="3">参加延べ人数</th> </tr> <tr> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現職教育研修</td> <td>944人</td> <td>952人</td> <td>929人</td> </tr> <tr> <td>新任・少経験・経験教員研修</td> <td>271人</td> <td>337人</td> <td>387人</td> </tr> <tr> <td>校長・教頭・教務主任・校務主任等研修</td> <td>581人</td> <td>530人</td> <td>578人</td> </tr> <tr> <td>専門研修（教育課題への対応）</td> <td>245人</td> <td>0人</td> <td>582人</td> </tr> <tr> <td>専門研修（教職専門性の向上）</td> <td>1,146人</td> <td>0人</td> <td>915人</td> </tr> <tr> <td>特別研修</td> <td>348人</td> <td>41人</td> <td>402人</td> </tr> <tr> <td>教育講演会</td> <td>641人</td> <td>0人</td> <td>689人</td> </tr> <tr> <td>中堅教員国内派遣研修</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>			研修項目	参加延べ人数			R3年度	R2年度	R元年度	現職教育研修	944人	952人	929人	新任・少経験・経験教員研修	271人	337人	387人	校長・教頭・教務主任・校務主任等研修	581人	530人	578人	専門研修（教育課題への対応）	245人	0人	582人	専門研修（教職専門性の向上）	1,146人	0人	915人	特別研修	348人	41人	402人	教育講演会	641人	0人	689人	中堅教員国内派遣研修	2人	0人	3人
研修項目	参加延べ人数																																									
	R3年度	R2年度	R元年度																																							
現職教育研修	944人	952人	929人																																							
新任・少経験・経験教員研修	271人	337人	387人																																							
校長・教頭・教務主任・校務主任等研修	581人	530人	578人																																							
専門研修（教育課題への対応）	245人	0人	582人																																							
専門研修（教職専門性の向上）	1,146人	0人	915人																																							
特別研修	348人	41人	402人																																							
教育講演会	641人	0人	689人																																							
中堅教員国内派遣研修	2人	0人	3人																																							

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT教育研修や、経験年数の浅い教員の力量向上のための研修を充実していく必要があります。</li> <li>・教職員研修の充実は必要ですが、多忙化解消の観点から授業や他の業務を考慮した研修計画が必要です。</li> <li>・感染拡大防止により、研修の定員を減らして開催したため、希望しても参加できない講座もありました。</li> <li>・感染症対策をしながら、研修会を開催できる方法を検討していく必要があります。</li> </ul>
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価を含めた授業づくり、プログラミング教育を含めたICT教育の研修などを充実させます。</li> <li>・教職員の負担を考慮しながら研修内容を随時見直し、時代の要請、教職員のニーズに応じた研修を企画します。</li> <li>・「学び合う学び」を進める教員の力量向上のための研修を引き続き企画します。</li> <li>・経験の少ない教員の増加が予想されていることから、児童生徒理解や教科の指導法等、OJTを充実し、より具体的な事例を挙げた研修を企画します。</li> <li>・感染対策に配慮し、オンライン研修も検討していきます。</li> </ul>
<p>評価委員等の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会がコロナ禍以前の水準に戻ってきて、よかったです。学び合う学びの実現のために、教師の専門性の向上は不可欠です。集合研修だけでなく、教師の負担感が少なく効果の上がる校内研修やOJTが各学校で充実するよう、市全体で取り組むことが大切です。</li> <li>・教員のニーズを拾い上げた上で、研修の内容や実施について検討してください。</li> <li>・経験年数の浅い教員の参加が減っていることが気になります。教員の労働時間数の問題もあり難しいですが、ぜひ研修は継続できる手法を考えていただきたいです。</li> <li>・授業後のオンライン研修を可能な限り取り入れることで、感染対策と多忙化解消への配慮がなされるとよいと思います。</li> <li>・経験の浅い教員の力量向上のためには、研修はもちろんのこと、今後もOJTの充実が望まれます。</li> <li>・昨今の教育現場では児童生徒一人ひとりの多様なニーズに寄り添った対応が求められており、まさに「学びの多様化」であると思っています。義務教育という一定の概念を乗り越えて、児童生徒一人ひとりを取り巻く様々な環境に対応できるような状況づくりのために努力しなければならないと思います。子どもたちの学びを保証するためには、個々の教員の献身的な努力を支え続ける環境づくりや、義務教育という一定の枠組みだけにとらわれない</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>対応が求められています。これは、目に見えない形で追い詰められている児童生徒たちへの朗報だと思っています。様々な事例を取り上げながら、より一層の調査研究を進めていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 研修に参加できなかった方達のために、オンラインでの研修を増やしていくと良いと思います。ベテラン教諭の経験や教育技術を若手教諭に継承していくことも大切だと思います。発達障がい児への支援に対する研修会、講演会もあると良いのではと思います。</li></ul>
--	--

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	情報活用能力・情報モラルの育成（施策3）	担当課 学校教育ICT推進室						
内 容	ICT教育のパイオニア校（2小学校・2中学校）を中心に、児童生徒1人1台端末等を活用し、「分かりやすく、主体的で協働的な学びの授業」を行います。また、ICT支援員の訪問回数を増加し、全小中学校で月4回程度とします。							
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイオニア校において、児童生徒1人1台タブレットPC及び学習者用デジタル教科書等を活用した授業実践に取り組み、実践事例集を作成しました。</li> <li>・小学校では、朝学習で児童が自分にあった難易度のデジタルドリルに取り組んだり、発表スライドを共同で編集したりする授業実践が行われました。</li> <li>・中学校では、授業支援ソフト内の思考ツールのチャート図等を活用し、自分の考えを比較・関連付けたりしながら組み立てたり、理科の実験結果をグループでまとめたりする授業実践が行われました。</li> <li>・各学校を訪問してICT機器の操作に対する助言や活用事例の紹介等を行うICT支援員について、令和3年4月からの訪問回数を増加し、全小中学校で月4回程度としました。</li> <li>・令和4年度から6年度までのICT支援員の受託業者について公募型プロポーザルにより選定しました。</li> </ul> <p>【タブレットPCの持ち帰り・オンライン学習】（次の表に続く）</p> <table border="1" data-bbox="481 1290 1425 1823"> <thead> <tr> <th data-bbox="481 1290 627 1339">学期</th> <th data-bbox="627 1290 1425 1339">取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="481 1339 627 1583">1学期</td> <td data-bbox="627 1339 1425 1583">                             ・全小中学校の小学4年生以上（小学校のパイオニア校は小学1年生から6年生まで）を対象に、タブレットPCを自宅に持ち帰ってインターネットに接続し、学校から配信された課題に取り組み、自宅から提出することにより、タブレットPCを介したやり取りの検証を行いました。                         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 1583 627 1823">2学期</td> <td data-bbox="627 1583 1425 1823">                             ・新型コロナウイルス感染症による出席停止や心配で登校を控える児童生徒に授業のオンライン配信（試行）を行いました。                              ・小学校4年生以上で月1回以上、タブレットPCの持ち帰りを実施しました。                         </td> </tr> </tbody> </table>		学期	取組内容	1学期	・全小中学校の小学4年生以上（小学校のパイオニア校は小学1年生から6年生まで）を対象に、タブレットPCを自宅に持ち帰ってインターネットに接続し、学校から配信された課題に取り組み、自宅から提出することにより、タブレットPCを介したやり取りの検証を行いました。	2学期	・新型コロナウイルス感染症による出席停止や心配で登校を控える児童生徒に授業のオンライン配信（試行）を行いました。 ・小学校4年生以上で月1回以上、タブレットPCの持ち帰りを実施しました。
学期	取組内容							
1学期	・全小中学校の小学4年生以上（小学校のパイオニア校は小学1年生から6年生まで）を対象に、タブレットPCを自宅に持ち帰ってインターネットに接続し、学校から配信された課題に取り組み、自宅から提出することにより、タブレットPCを介したやり取りの検証を行いました。							
2学期	・新型コロナウイルス感染症による出席停止や心配で登校を控える児童生徒に授業のオンライン配信（試行）を行いました。 ・小学校4年生以上で月1回以上、タブレットPCの持ち帰りを実施しました。							

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>(前の表の続き)</p> <table border="1" data-bbox="483 237 1426 528"> <tr> <td data-bbox="483 237 627 528">3学期</td> <td data-bbox="627 237 1426 528"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で月1回以上、タブレットPCの持ち帰りを実施しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の第6波で臨時休校となった学校では、ウェブ会議システムで教員が児童生徒に学習資料のポイントを説明し、質疑応答等を行うオンライン授業の取組を実施しました。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>◆パイオニア校の検証対象学年及び事例数（年間）</p> <table border="1" data-bbox="488 622 1415 770"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>味岡小</th> <th>大城小</th> <th>味岡中</th> <th>光ヶ丘中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>31事例</td> <td>17事例</td> <td>38事例</td> <td>11事例</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>32事例</td> <td>17事例</td> <td>35事例</td> <td>16事例</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆パイオニア校アンケート結果</p> <table border="1" data-bbox="488 869 1442 1111"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R元年10月</th> <th>R3年2月</th> <th>R4年2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タブレットPCを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合</td> <td>78.9%</td> <td>81.1%</td> <td>83.2%</td> </tr> <tr> <td>授業の中でICT機器を活用したいと感じている教員の割合</td> <td>97.8%</td> <td>99.0%</td> <td>98.2%</td> </tr> </tbody> </table>	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で月1回以上、タブレットPCの持ち帰りを実施しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の第6波で臨時休校となった学校では、ウェブ会議システムで教員が児童生徒に学習資料のポイントを説明し、質疑応答等を行うオンライン授業の取組を実施しました。</li> </ul>	項目	味岡小	大城小	味岡中	光ヶ丘中	令和2年度	31事例	17事例	38事例	11事例	令和3年度	32事例	17事例	35事例	16事例	項目	R元年10月	R3年2月	R4年2月	タブレットPCを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	78.9%	81.1%	83.2%	授業の中でICT機器を活用したいと感じている教員の割合	97.8%	99.0%	98.2%
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で月1回以上、タブレットPCの持ち帰りを実施しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の第6波で臨時休校となった学校では、ウェブ会議システムで教員が児童生徒に学習資料のポイントを説明し、質疑応答等を行うオンライン授業の取組を実施しました。</li> </ul>																													
項目	味岡小	大城小	味岡中	光ヶ丘中																										
令和2年度	31事例	17事例	38事例	11事例																										
令和3年度	32事例	17事例	35事例	16事例																										
項目	R元年10月	R3年2月	R4年2月																											
タブレットPCを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	78.9%	81.1%	83.2%																											
授業の中でICT機器を活用したいと感じている教員の割合	97.8%	99.0%	98.2%																											
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員間におけるICT活用指導力、各校間における取組意識に差が生じないように、市全体及び各学校で教員研修や実践事例の情報収集を進める必要があります。</li> <li>・クラウドサービスを活用する社会において、児童生徒が自身のID・パスワード等の個人情報や他者の情報等を適切に管理できるよう、情報モラル教育を充実する必要があります。</li> <li>・学習活動を充実させるための「学びの道具」としてICT機器を積極的に活用するとともに、オンライン学習を充実させ、臨時休校時にも児童生徒の学びを保障できる体制を整備する必要があります。</li> </ul>																													
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間中に教員向け情報モラル研修を行ったり、授業におけるICT活用の実践事例を学ぶ機会を設けたりするなど、教職員研修を充実します。</li> <li>・各教科で繰り返し指導したり、児童生徒自身がタブレットの使用ルールづくりに参画したりして、情報モラル教育を充実します。</li> <li>・災害や感染症等による臨時休校時等に、同時双方向型のオンライン学習を実施できるように、ICT支援員がウェブ会議システム等の校内研修を行ったり、各学校の情報教育担当がICTの活用を広めるリーダー役となる体制づくりを行います。</li> </ul>																													

点検評価シート（令和3年度実績）

評価委員 の意見等	<ul style="list-style-type: none"><li>・タブレットPCの普及・活用が進み、パイオニア校での成果も上がっています。どの学校の児童生徒にも、ICTを活用した学びが充実するよう、取組を続けてください。</li><li>・家庭の情報環境の多様性に配慮した取組を希望します。</li><li>・新しい教育の方法なので、今後とも上手く活用されることを望みます。</li><li>・ICT支援員の訪問回数が増えたことは大変ありがたいです。活用に苦手意識のある教員も心強いと話しておりました。</li><li>・子どもが休んだ時に、リアルタイムの授業を自宅でも受けられて良いと思いました。親として心配なのは、タブレットの破損などが市の保証対象外の時の弁済です。</li><li>・「タブレットPCを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合」が年々増えてきているのは良いことだと思います。今後もタブレットPCを有効活用していけたらと思います。</li></ul>
--------------	---

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	必要に応じた支援員、介助員の配置（施策4）			担当課 学校教育課																
内 容	特別支援学級に在籍する児童生徒をよりきめ細やかに支援するため、学校生活サポーターを増員し、教員や特別支援教育相談員などとの連携により支援体制を充実します。																			
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校の特別支援学級において、担任のもとで児童生徒の学校生活を支援する「学校生活サポーター」を増員し、支援の充実を図りました。</li> <li>学校生活サポーターは、児童生徒が学習課題を行う際の手助けや、他の学級との交流及び共同学習のための教室移動の付添いなど、担任と相談しながら個々の児童生徒の状態に応じた支援を行いました。</li> <li>学校生活サポーターへの支援体制として、合同研修会を学期ごとに実施し、事例を持ち寄り支援の方法などを話し合ったり、カウンセラーの講演を聞いたりすることを通して、児童生徒への寄り添い方などを習得し、業務に役立てました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="491 1003 1254 1249"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R 元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育介助員</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>学校生活サポーター</td> <td>15 人</td> <td>12 人</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級に在籍する児童生徒数</td> <td>280 人</td> <td>252 人</td> <td>227 人</td> </tr> </tbody> </table>				項目	R3 年度	R2 年度	R 元年度	特別支援教育介助員	0 人	0 人	0 人	学校生活サポーター	15 人	12 人	9 人	特別支援学級に在籍する児童生徒数	280 人	252 人	227 人
項目	R3 年度	R2 年度	R 元年度																	
特別支援教育介助員	0 人	0 人	0 人																	
学校生活サポーター	15 人	12 人	9 人																	
特別支援学級に在籍する児童生徒数	280 人	252 人	227 人																	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年 4 月に「障害者差別解消法」が施行され、より重度の障がいがある児童生徒が、地域の学校への就学を希望することが増えてきています。</li> <li>外国人児童生徒の増加に伴い、障がいがある外国人児童生徒も増えてきています。</li> </ul>																			
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な児童生徒の増加に対応するため、令和 4 年度は学校生活サポーターを 1 名増員し、16 名体制とします。</li> <li>今後も特別支援学級に在籍する児童生徒の人数や個別支援が必要な児童生徒の状況を把握し、適切に学校生活サポーターを配置するように取り組んでいきます。</li> </ul>																			
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級に在籍する生徒のために、学校生活サポーターが増員されていることは、肯定的に評価できます。児童生徒や担任教師が感じている困難さについて十分に聞き取りをした上で、必要な支援の拡充が望まれます。</li> <li>今後とも必要とされるサポーター体制ですので、その支援員をいかに教育し、増やすかも考慮願います。</li> </ul>																			

点検評価シート（令和3年度実績）

	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校生活サポーターの増員は大変助かります。今後も在籍人数や障がいの程度を考慮した適正配置がなされると良いです。</li><li>・（再掲）昨今の教育現場では児童生徒一人ひとりの多様なニーズに寄り添った対応が求められており、まさに「学びの多様化」であると思っています。義務教育という一定の概念を乗り越えて、児童生徒一人ひとりを取り巻く様々な環境に対応できるような状況づくりのために努力しなければならないと思います。子どもたちの学びを保証するためには、個々の教員の献身的な努力を支え続ける環境づくりや、義務教育という一定の枠組みだけにとらわれない対応が求められています。これは、目に見えない形で追い詰められている児童生徒たちへの朗報だと思っています。様々な事例を取り上げながら、より一層の調査研究を進めていただきたく思います。</li><li>・難しい問題です。現場は大変だと思います。</li><li>・特別支援に在籍している児童生徒は年々増加しており、一人ひとりに合った細やかな支援が求められます。今後も支援学級の人数に応じて学校生活サポーターを増員していただけたらと思います。学校施設におけるバリアフリー化も求められると思います。</li></ul>
--	---

**基本目標2 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成**

- ④ 国や郷土を愛する心と自己肯定感を養うとともに、いのちを大切にする心や他者を思いやる心を育みます。
- ④ 体力の向上や学校給食を通じた食育、読書活動の推進など、心身の健全な成長を支えます。

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	小中学生にすすめるブックリストの活用（施策8）	担当課 図書館
内 容	<p>児童生徒が読書記録を蓄積する読書ノートを取り組みを継続します。また、自宅のパソコンや学校のタブレットから読書ノートが利用できるよう図書館ホームページへ掲載し、読書の習慣化を図ります。</p>	
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの実績や意見を参考に、全小学1年生・全中学1年生へ配布し、他学年は希望者に読書ノートを配布しました。</li> <li>・紙媒体の読書ノートの利用が進まない中、次のような取り組みを行いました。</li> </ul> <p>①自宅のパソコン等で読書ノートが利用できるように図書館ホームページに掲載し、利用者が自由にダウンロードや印刷ができるようにしました。</p> <p>②読書ノートに掲載しているブックリストを、図書館ホームページの「おすすめブックリスト」に追加し、利用者がPCやスマートフォンで書誌情報の閲覧や資料予約をしやすくしました。</p> <p>③読書記録については、中央図書館の開館に合わせて導入した図書館システムにおいて、図書館で借りた図書の貸出履歴や読書記録をホームページ内の「マイページ」に残すことができるようになりました。</p> <p>※ブックリストとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の観点から学校教諭が選定した良書をリスト化したもの</li> </ul> <p>※読書ノートとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックリストの活用を図る手段として、リストアップされている本の表紙を掲載し、本の感想などが書き込めるノート（冊子）に整えたもの。読書ノートを利用することで、学校教諭が選定した良書に触れる機会を増やし、本を読む楽しさを感じながら読書習慣が形成されるよう児童・生徒へ配布。</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックリストの作成年が古く、掲載図書を更新がされていないため、内容を見直す必要があります。</li> <li>・ブックリストの活用方法として、読書ノートの配布を行ってききましたが、望ましい成果が得られなかったため、手段を見直す必要があります。</li> </ul>
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と図書館が連携して小中学生にすすめるブックリストの改訂を行います。</li> <li>・ブックリストの活用を図るための読書ノートの機能を改善したリーフレットを検討作成し、ホームページへ掲載するなど読書の習慣化を図ります。</li> </ul>
<p>評価委員等の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書ノートが電子化されたことは、今後の利用の発展が期待できます。お互いの感想やお勧めコメントをWeb上で交流できるようになるとよいと思います。</li> <li>・ブックリストの改訂が至急の課題と考えます。</li> <li>・新しい本が次々に出版されていきます。ブックリストを作成することも大変だと考えられます。小中学生自身で本を選んでいけるように、図書館や学校図書室に行きたくなるような環境整備をすることも、今後考えてもよいのではないのでしょうか。</li> <li>・読書ノートの図書館ホームページへの掲載について、広報が十分浸透していなかったように感じます。</li> <li>・とても良い取組だと思います。学校と図書館が連携していくことで、子どもたちに本を読むことの楽しさが伝われば良いと思います。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)</p>	<p>栄養教諭・学校栄養職員等による食育・給食指導 (施策10)</p>	<p>担当課 学校給食課</p>
<p>内 容</p>	<p>望ましい食習慣や食生活を習得させる食育指導の充実を図るとともに、給食に地元農産物を取り入れ、地元農業や郷土料理等、食に対する理解を深めます。</p>	
<p>達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭4名、栄養職員2名により、市内小学校の3学年及び中学校の1学年の全クラスを目標に市内各校を巡回し、家庭科の時間等を活用して野菜の摂取量などの栄養バランスや小牧の特産物などの食育指導を行いました。</li> <li>・学校給食における地産地消については、地元産の食材を取り入れ、地元農業や郷土料理への関心を高める取組を行いました。(センター毎の対応で延べ70回程度実施)</li> <li>・6月、11月、1月の年3回「愛知を食べる学校給食週間」と位置付けて、愛知県産や小牧産の食材を集中して提供し、校内放送や給食だよりを通じて特産物の由来や栄養面などの指導に努めました。</li> </ul>	
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭や栄養職員は学校と給食センターの兼務であるため、指導のための十分な時間をとることが難しい状況です。</li> <li>・農産物生産者の高齢化や天候不順などで、供給量や質の安定的確保が年々困難になってきています。</li> <li>・食物アレルギーを持つ児童生徒が増えており、その現状をふまえた食育・給食指導が必要となっています。</li> </ul>	
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭や栄養職員による食に関する指導に加えて、他の教職員の食に関する指導や給食委員の啓発に活用できる媒体やポスター等の作成・配布に努めます。</li> <li>・栄養教諭や栄養職員による指導機会の確保のため、ICTの活用を含む効率的な実施方法を検討します。</li> <li>・農産物生産者と連絡を密に行い、給食食材の提供可能な時期や供給量を考慮しつつ、学校給食献立作成を進めていきます。</li> <li>・食物アレルギー対応として、特定原材料を除く献立やユニバーサル給食など、できるだけ皆が同じ給食を食べる機会を提供することで、食物アレルギーに対する意識付けを行います。</li> </ul>	
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会に開かれた教育課程」の観点からも、地域とつながった食育と給食指導の機会が大切であり、これからも地元農業や郷土料理への関心を高める活動を継続・発展させるべきです。</li> <li>・孤食問題を意識した食を通じたコミュニケーションのアプローチも期待します。</li> <li>・食育は、生涯にわたって身体に関わる重要な事項であり、野菜の</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>摂取量の調査の他にも、栄養バランスの調査・指導が欠かせないので、今後とも啓発に努めていただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・食物アレルギーをもつ児童生徒は年々増えていると実感しています。ユニバーサル給食の拡充をお願いします。</li><li>・栄養教諭・栄養職員は全校配置ではないので、食育指導もICTを活用し、給食時に映像を流すなど工夫をするとよいのではないのでしょうか。</li><li>・親が食事を作らないという家庭もあるようです。コンビニからお湯を入れたカップ麺を持ち帰る姿をよく見かけます。名古屋市はこども食堂がたくさんありますが、小牧市は1軒しかないようです。</li><li>・「愛知を食べる学校給食週間」はとても良いと思います。農産物生産者の方に学校に来ていただいて、児童生徒との交流もあれば良いのではと思います。そうすることにより、食べ物や農業に興味を持てるのではないかと思います。</li></ul>
--	--

**基本目標3 未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり**

- ④ 放課後などの学習支援や経済的な支援を充実するなど、一人ひとりのこどもの学びを保障し、教育の質を高めます。
- ④ 学校施設の整備など、すべてのこどもが安心して学ぶことができる環境を整えます。

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	経済的に困窮している児童生徒の保護者に対する費用の助成・就学援助（施策11）	担当課 学校教育課																				
内 容	経済的な理由で就学が困難な市内小中学校に通う児童生徒の保護者に対する就学援助を実施し、保護者の負担を軽減します。																					
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対して、給食費や学用品費などの一部を援助しました。</li> <li>・新小学1年生に対しては、10月に実施する就学時健診の案内に就学援助制度を同封するとともに、各学校で実施する就学時健診時においても改めて保護者に説明しました。新中学1年生に対しては、10月に、中学校進学に伴って必要となる新入学学用品費の援助制度について周知しました。さらに、10月には、全学年の児童生徒に就学援助制度の内容を記載したお知らせを配りました。</li> <li>・国の要綱改正に準じ、臨時休校等に伴うオンライン学習の実施に備えて、オンライン通信費の助成を新設しました。オンライン学習開始に伴い、9月からオンライン通信費を支給しました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="491 1281 1414 1429" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R元年度</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学援助費</td> <td>832人</td> <td>481人</td> <td>794人</td> <td>413人</td> <td>782人</td> <td>414人</td> </tr> </tbody> </table>		項目	R3年度		R2年度		R元年度		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	就学援助費	832人	481人	794人	413人	782人	414人
項目	R3年度			R2年度		R元年度																
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校																
就学援助費	832人	481人	794人	413人	782人	414人																
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の主旨や仕組みに対する問合せが多いため、制度内容をより一層わかりやすく周知する必要があります。</li> </ul>																					
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする児童生徒が援助を受けられるよう、より一層わかりやすい周知に努めます。</li> </ul>																					
評 価 委 員 員 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一層わかりやすい周知の工夫をお願いします。</li> <li>・そもそもの負担額が少なくなるような包括的な財政助成の検討を期待します。</li> <li>・今後とも制度の充実に努めてください。</li> <li>・保護者の経済的な格差により、子どもが不利益を被ることのないよう、今後とも確実な周知と申請手続の簡略化を願います。</li> <li>・学校からの案内文で制度があることは知っていましたが、結構な数があることに驚きました。</li> <li>・経済的要因によって就学が困難にならないよう、この助成制度は</li> </ul>																					

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>とても良いことだと思います。制度の主旨や仕組みなどを周知するためにパンフレットなどを作成してはと思う。ぜひ今後も継続していただけたらと思います。</p>
--	---

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	児童生徒に対する学習支援の実施（施策11）	担当課 こども政策課										
内 容	「駒来塾」を開設し、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBなどの協力を得て、学習支援活動に取り組めます。											
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度より全中学校区を対象として、市内4地区で実施しており、学校の協力のもと、全生徒に募集チラシを配布するとともに、福祉総務課及び学校教育課と連携し、生活保護世帯、児童扶養手当受給者及び就学援助費受給者へ働きかけを行いました。</li> <li>令和3年度より、できるだけ新規生徒が学ぶ時間を取れるよう、入塾の時期を1ヶ月前倒ししました。</li> <li>令和3年度は夏休み終了後に追加募集を実施し、13名の追加入塾がありました。</li> <li>4教室合わせて61名の参加があり、基礎学力に合わせた個別の学習支援を実施しました。</li> <li>参加している生徒は、母子（父子）家庭をはじめ、外国籍、不登校など、それぞれの事情を抱えており、また、学習理解度の差もあるため、個々の生徒にあわせた対応に心がけています。</li> <li>参加する生徒や保護者を対象としたアンケート結果から満足度は高く、徐々に勉強する習慣が身についてきている様子が窺えました。また、講師と生徒、生徒同士などの交流により、お互いの成長を育む居場所づくりにもなりました。</li> <li>今年度は新型コロナウイルス感染症もありましたが、当初の予定通り年間42回の開催ができました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="491 1435 1367 2018"> <tr> <td>開催日等</td> <td>毎週木曜日 午後6時30分から午後8時 年間42回開催</td> </tr> <tr> <td>参加料</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>対象教科</td> <td>数学、英語を中心に5教科</td> </tr> <tr> <td>学習内容</td> <td>宿題や教科書を持参しての自主学習を基本とし、学習支援員や学習サポーターが質問に答えながら学習を実施。各教室にてテスト後の復習や補充プリントなどを実施することもある。</td> </tr> <tr> <td>学習体制</td> <td>各教室とも学習支援員2～3名、学習サポーター2～3名の体制で、講師1名につき生徒2～3名を担当。講師については、登録制によるローテーションを組んでいる。</td> </tr> </table>		開催日等	毎週木曜日 午後6時30分から午後8時 年間42回開催	参加料	無料	対象教科	数学、英語を中心に5教科	学習内容	宿題や教科書を持参しての自主学習を基本とし、学習支援員や学習サポーターが質問に答えながら学習を実施。各教室にてテスト後の復習や補充プリントなどを実施することもある。	学習体制	各教室とも学習支援員2～3名、学習サポーター2～3名の体制で、講師1名につき生徒2～3名を担当。講師については、登録制によるローテーションを組んでいる。
開催日等	毎週木曜日 午後6時30分から午後8時 年間42回開催											
参加料	無料											
対象教科	数学、英語を中心に5教科											
学習内容	宿題や教科書を持参しての自主学習を基本とし、学習支援員や学習サポーターが質問に答えながら学習を実施。各教室にてテスト後の復習や補充プリントなどを実施することもある。											
学習体制	各教室とも学習支援員2～3名、学習サポーター2～3名の体制で、講師1名につき生徒2～3名を担当。講師については、登録制によるローテーションを組んでいる。											

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p><b>【東部地区】</b>          場 所：東部市民センター学習室・視聴覚室          参加生徒：12名（篠岡中6名・桃陵中2名・光ヶ丘中4名）          登録講師：16名（学習支援員12名・学習サポーター4名）</p> <p><b>【北里地区】</b>          場 所：北里市民センター集会室          参加生徒：15名（北里中9名・小牧西中6名）          登録講師：7名（学習支援員6名・学習サポーター1名）</p> <p><b>【味岡地区】</b>          場 所：味岡市民センター視聴覚室          参加生徒：17名（味岡中6名・岩崎中11名）          登録講師：14名（学習支援員6名・学習サポーター8名）</p> <p><b>【小牧地区】</b>          場 所：中部公民館会議室1・2          参加生徒：17名（小牧中15名・応時中2名）          登録講師：11名（学習支援員7名・学習サポーター4名）</p>
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来、駒来塾を必要とする生徒へ情報が届き、入塾できているのか懸念があります。</li> <li>・母子（父子）家庭をはじめ、不登校傾向の生徒など、さまざまな事情を抱えている生徒がおり、継続して参加してもらえるような個々に応じた対応や働きかけが必要です。</li> </ul>
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入塾しやすいよう、令和3年度に引き続き、定員に余裕があれば追加募集を行います。</li> <li>・生徒への指導方法や運営等情報共有を図るため、定期的に塾長会を開催します。</li> <li>・市内全地区が対象となり、地区の分割の必要性などを含む今後の運営について議論を進めるため、定期的に運営委員会を開催します。</li> </ul>
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入塾時期の見直しや、追加募集の導入により、学習支援の機会が向上しています。きめ細かに対応していただいている様子も伝わってきます。生徒一人ひとりが希望を持てるよう、市内全域に拡大するための支援体制を整える必要があります。</li> <li>・学校教員への周知を徹底し、面談や進路指導の際に選択肢として提示できるような体制づくりをしてほしいです。</li> <li>・春休み等の中学入学以前に、支援の必要者が認知され、中学に入った時に、他の生徒と同じスタートが切れるといいです。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒の将来を見据えた良い取組だと思います。年度途中の追加募集もぜひ続けていただければと思います。</li><li>・駒来塾は、意欲はあるが、進度が遅れている子の勉学の間と理解しています。これとは別に中学ではトップクラスだが、ハイクラス高校への受験対策が経済的な理由で、できない子への対策があると良いです。</li><li>・とても良い取組だと思います。今後も継続していただけたらと思います。</li></ul>
--	--

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本 計画の施策番号）	こども夢・チャレンジ事業の展開（施策13）	担当課 こども政策課															
内 容	こどもの将来等を育むきっかけとして様々な事業を展開します。 ①学習支援事業「駒来塾」 ②プログラミング講座 ③市内産業見学会開催事業 ④夢にチャレンジ助成金支給事業 ⑤大学生等海外留学奨学金支給事業 ⑥こども夢サポーター制度																
達 成 状 況	<p>・「こども夢・チャレンジ No.1 都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開しました。</p> <p>①学習支援事業「駒来塾」                  ※「児童生徒に対する学習支援の実施」（施策11）を参照</p> <p>②プログラミング講座                  中部大学と連携し、デジタルのモノづくりを学ぶため、全4回の講座を小学4～6年生を対象に実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="435 1055 1444 1249"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中部大学</td> <td>10月23日（土）、10月30日（土）、 11月6日（土）、11月13日（土）</td> <td>10人（内訳）4年生5人 5年生4人 6年生1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③市内産業見学会開催事業                  小学5・6年生及び中学生を対象に、地元企業等への愛着を育む機会として、市内企業の見学や職業体験を行いました。</p> <table border="1" data-bbox="435 1440 1444 1590"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>見学・体験先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月3日（火）</td> <td>6人</td> <td>小牧消防署 消防士体験</td> </tr> <tr> <td>8月4日（水）</td> <td>7人</td> <td>リンナイ精機㈱ 工場見学</td> </tr> </tbody> </table> <p>④夢にチャレンジ助成金支給事業                  25歳以下の高校、大学等の在籍者を対象に、自分の夢を実現するための計画を募集し、公開プレゼンテーションによる審査を行い、優秀者に助成金（上限1件30万円）を支給しました。                  令和3年度から、対象者を市内在住、在学の満15歳以上満25歳以下の高校生、大学生、社会人等とし、在学者については住所要件を外しました。これにより市内高校、大学に通う方がグループ単位での応募も可能となります。                  また、活動期間を単年度ではなく、翌年度末まで可能としました。</p>		場所	開催日	参加者	中部大学	10月23日（土）、10月30日（土）、 11月6日（土）、11月13日（土）	10人（内訳）4年生5人 5年生4人 6年生1人	開催日	参加者	見学・体験先	8月3日（火）	6人	小牧消防署 消防士体験	8月4日（水）	7人	リンナイ精機㈱ 工場見学
場所	開催日	参加者															
中部大学	10月23日（土）、10月30日（土）、 11月6日（土）、11月13日（土）	10人（内訳）4年生5人 5年生4人 6年生1人															
開催日	参加者	見学・体験先															
8月3日（火）	6人	小牧消防署 消防士体験															
8月4日（水）	7人	リンナイ精機㈱ 工場見学															

点検評価シート（令和3年度実績）

交付決定 件数	交付実績	内容						
2件	300,000円	①「ゴルフツアートーナメントへの出場資格獲得を目指してQTに挑む」 大学生1人 助成額 300,000円 ②「教育改革！教育学生の全国行脚」 大学生1人 助成額 0円 （参考）R4年度支給見込額 300,000円						
<p>さらに、この制度を将来活用していただけるよう、その契機として中学生を対象とした夢を語る発表の場「夢にチャレンジ発表会」を新たに開催しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>発表者</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>				R3年度	応募者	6人	発表者	6人
	R3年度							
応募者	6人							
発表者	6人							
<p>⑤大学生等海外留学奨学金支給事業</p> <p>海外の大学に、3ヵ月以上留学しようとする大学生等に、留学先の国や地域に応じて、12回を上限に、月額4万～5万円を支給しました。</p> <p>令和3年度から、対象者を市内在住の満15歳以上満25歳以下の高校生、大学生、社会人等に拡充し、留学形態も大学の認定留学以外に「語学力の向上を目的とする留学」を追加し、また、所得基準については、日本学生支援機構の第一種奨学金支給基準を準用してきましたが、第二種奨学金支給基準に緩和しました。</p> <p>令和3年度は10件の申請があり、予約決定を含め7件を決定しました。</p>								
交付決定 件数	交付実績	内容						
4件	461,284円	①高校3年生 期間：令和3年8月28日～令和4年7月2日 留学先：ベルギー 支給額：356,448円 （参考）R4年度支給見込額 153,224円 ②高校1年生 期間：令和4年1月29日～令和4年12月31日 留学先：カナダ 支給額：104,836円						

点検評価シート（令和3年度実績）

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(参考) R4 年度支給見込額 450,000 円</p> <p>③専門学校 2 年生              期間：令和 4 年 5 月 4 日～令和 5 年 4 月 21 日              留学先：カナダ              支給額：0 円</p> <p>(参考) R4、R5 年度支給見込額 580,122 円</p> <p>④大学 3 年生              期間：令和 4 年 4 月 25 日～令和 5 年 1 月 27 日              留学先：カナダ              支給額：0 円</p> <p>(参考) R4 年度支給見込額 453,520 円</p> </div> <p>⑥こども夢サポーター制度              市とともにこどもの夢を応援する団体や企業を募り、こども夢・サポーターとして登録し、登録証の交付とこまき山ぬいぐるみを贈呈するとともに、市のホームページで各登録者の取組を紹介しました。</p> <p><b>【登録数】</b>（各年度末現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>R3 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R 元年度</th> <th>H30 年度</th> <th>H29 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 団体</td> <td>3 団体</td> <td>4 団体</td> <td>7 団体</td> <td>32 団体</td> <td>26 団体</td> <td>72 団体</td> </tr> </tbody> </table>	R3 年度	R2 年度	R 元年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	合計	0 団体	3 団体	4 団体	7 団体	32 団体	26 団体	72 団体
R3 年度	R2 年度	R 元年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	合計									
0 団体	3 団体	4 団体	7 団体	32 団体	26 団体	72 団体									
課 題	<p>①～⑤共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染対策を取りながら、継続的に事業を実施できるよう、計画する必要があります。</li> </ul> <p>①学習支援事業「駒来塾」              ※「児童生徒に対する学習支援の実施」（施策 1 1）参照</p> <p>②プログラミング講座、③市内産業見学会開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、市内企業や大学と調整を図り、安全、安心に実施できる内容とする必要があります。</li> <li>・見学する企業が固定化されており、新たな受入れ先の企業を検討する必要があります。</li> </ul> <p>④夢にチャレンジ助成金支給事業、              ⑤大学生等海外留学奨学金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢に向かってチャレンジしようとしている方や海外へ留学したいと考えている方へ制度の情報が届いているか懸念があります。制度の内容を周知し、継続的な応募者の増加につなげていく必要があります。</li> </ul>														

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>す。</p> <p>⑥こども夢サポーター制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募件数が少ないため、事業の周知を図り、広報などで募集を呼びかけ、知名度を高める必要があります。</li> <li>・制度の趣旨に賛同して登録していただいた後、こども夢・サポーターを市としてどのように活用していくのかが明確ではありません。</li> <li>・登録団体がこどもたちの夢の実現に向けた支援活動を、具体的に取組めるような仕組みづくりを検討する必要があります。</li> </ul>
<p>今後の取組の方向性</p>	<p>①学習支援事業「駒来塾」</p> <p>※「児童生徒に対する学習支援の実施」（施策11）参照</p> <p>②プログラミング講座、③市内産業見学会開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちが将来の希望や夢を持てるよう、その契機となるような取組を検討します。</li> </ul> <p>④夢にチャレンジ助成金支給事業、</p> <p>⑤大学生等海外留学奨学金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に応募があるよう、活動内容や制度について広報やホームページでの周知に加え、SNSの活用を検討します。</li> <li>・「夢にチャレンジ発表会」の効果を踏まえつつ、「夢にチャレンジ助成金」の仕組みについて、引き続き検討を進めます。</li> <li>・社会人留学や語学留学の応募状況等を踏まえ、海外留学の夢を持つ若者への支援につながる制度となるよう引き続き検討を進めます。</li> </ul> <p>⑥こども夢サポーター制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上や広報にて制度をわかりやすく紹介し、登録のメリットを明確にしていきます。</li> <li>・夢にチャレンジ助成金制度や夢にチャレンジ発表会などと連携した支援活動のあり方について、検討を行います。</li> </ul>
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生等海外留学奨学金支給事業が、申請・決定件数が増加したことは、制度の見直しの成果であると思います。説明会や発表会などを充実させ、夢にチャレンジする子どもがさらに増えることが望まれます。</li> <li>・こども夢サポーター制度のニーズがないのであれば、抜本的な内容の改善も検討してほしいです。</li> <li>・こども夢サポーター企業が充実してくると、子どもたちも幅広い夢を持てるようになると思います。</li> <li>・学校で行われているキャリア教育とつなげて、小牧市が実施してい</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>る諸々の事業をうまく紹介できないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・応募が少ないのではと思います。</li><li>・とても良い取組だと思っています。今後も継続していただけたらと思います。</li></ul>
--	---

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	ICT機器の整備・充実（施策14）	担当課 学校教育ICT推進室															
内 容	国のGIGAスクール構想を踏まえ、「小牧市学校教育ICT推進計画」を見直します。また、校務支援用コンピュータを整備するとともに、国の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に沿い、校務系システムをインターネットリスクから分離するなど、情報セキュリティ対策に取り組みます。																
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から8年度を計画期間とする「第2次小牧市学校教育ICT推進計画」を策定しました。</li> <li>・校務支援用コンピュータとして、図書室用・保健室用・事務職員用のデスクトップPCを更新し、新たに出退勤用タブレットPCを整備しました。</li> <li>・校務系システムをインターネットリスクから分離し、新たに校務外部接続系ネットワークを構築しました。その後、大規模中学校において校内Wi-Fiの接続状況が悪化したことから、ネットワーク機器の再設定を行い、通信状況の改善を図りました。</li> <li>・文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえ、セキュリティポリシー及び運用マニュアルについて、クラウドサービスの活用を踏まえた見直しを行いました。</li> <li>・教職員の出退勤管理機能を整備し、運用を開始しました。</li> <li>・校務支援システムに教員の校務外部接続系端末で出欠席状況の登録・閲覧ができるように、ポータブル機能を追加しました。</li> <li>・中学校生徒用タブレットPCの保護カバーを整備しました。</li> </ul> <p>【令和3年度の整備機器】</p> <table border="1" data-bbox="459 1435 1412 1682"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出退勤用タブレットPC</td> <td>16台</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>図書室デスクトップPC</td> <td>32台</td> <td>18台</td> </tr> <tr> <td>保健室デスクトップPC</td> <td>16台</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>事務職員用デスクトップPC</td> <td>32台</td> <td>18台</td> </tr> </tbody> </table>			小学校	中学校	出退勤用タブレットPC	16台	9台	図書室デスクトップPC	32台	18台	保健室デスクトップPC	16台	9台	事務職員用デスクトップPC	32台	18台
	小学校	中学校															
出退勤用タブレットPC	16台	9台															
図書室デスクトップPC	32台	18台															
保健室デスクトップPC	16台	9台															
事務職員用デスクトップPC	32台	18台															

点検評価シート（令和3年度実績）

		【パソコンの配備台数（令和3年度末）】				(次の表に続く)
区分		児童生徒1人1台分				
		GIGAスクール構想分	モデル校より移管	PC教室より移管	移動用より移管	
小学校		8,423台 (iPad)	-	-	-	
内 R3 年度更新		-	-	-	-	
中学校		3,082台 (Surface Go2)	792台 (Surface Go)	360台 (Surface Go)	89台 (Surface Go)	
内 R3 年度更新		-	-	-	-	
合計		11,505台	792台	360台	89台	
(前の表の続き)						
区分		PC教室分	校務系分	校務外部 接続系分	計	
小学校		176台	732台	541台	9,872台	
内 R3 年度更新		-	(96台)	-	(96台)	
中学校		369台	445台	348台	5,485台	
内 R3 年度更新		-	(54台)	-	(54台)	
合計		545台	1,177台	889台	15,357台	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国県の動向を踏まえつつ、学習者用デジタル教科書及び文部科学省C B T (Computer Based Testing) システムの効果的な活用について研究する必要があります。</li> <li>・校内で各種クラウドサービスを快適に利用できるよう、アクセスポイントの増設及び通信速度の向上に取り組む必要があります。</li> <li>・膨大な台数のI C T機器を効率的に管理する方法を検討する必要があります。</li> <li>・保護者と学校間の各種連絡について、I C Tを活用して、保護者及び教員の負担軽減を図る必要があります。</li> <li>・令和6～7年度の児童生徒1人1台タブレットP Cの次期更新に向け、費用及び教育効果の両方から、整備のあり方を検討していく必要があります。</li> <li>・将来の校務情報のクラウドサービス利用を想定し、教育ネットワークの在り方について検討する必要があります。</li> </ul>					

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校において、学習者用デジタル教科書、文部科学省C B Tシステム及び学習 e ポータルの活用について検証します。</li> <li>・小中学校の図書室及び中学校の柔剣道場にアクセスポイントを追加整備し、高速で安定した通信環境の構築について研究します。</li> <li>・教職員及び児童生徒のアカウント等を効率的に管理することができる I D 管理システムの運用を開始します。</li> <li>・全校に保護者連絡アプリを整備し、欠席連絡及び連絡帳等のデジタル化を試行実施します。</li> <li>・児童生徒 1 人 1 台タブレット P C の次期更新に向け、国・県の動向を注視しつつ、機種選定及び調達方法について調査研究します。</li> <li>・1 台の端末内に校務系及び校務外部接続系の 2 つのネットワーク環境を構築する手法について検証します。校務支援システムのクラウド化に向けて、アクセス認証方法及びクラウドへのデータ保存について調査研究します。</li> </ul>
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でのタブレット P C 活用が広がっています。クラウドサービスの利用により通信量も増加していきます。学習での使用に支障がないよう、今後もネットワーク環境の整備が望まれます。</li> <li>・教員の出退勤時間など労務管理ができ、かつ校務や保護者連絡など幅広い活用が期待されている機能の充実は早期に望まれます。</li> <li>・欠席連絡等がオンライン上でできるようになると、保護者も助かるでしょうし、学校側も担任だけでなく、全ての教職員が同時に把握できるので、早期導入が望まれます。</li> <li>・各校で I C T 機器の管理を担当する職員のサポート体制も、引き続きお願いします。</li> <li>・保護者連絡アプリの整備を期待します。欠席連絡などがアプリでできるようになれば、同じ時間に学校への電話が集中しなくなるので良いと思います。先生の負担も減るのではないかと思います。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	学校施設の改修（施策14）	担当課
		教育総務課
内 容	<p>老朽化・狭あい化が進んでいる小牧南小学校の改築に向け計画的に事業を進めます。令和元年度に実施した実施設計に基づき、改築工事を令和2年度に引き続き実施します。また、特別教室へのエアコンの設置について、小学校（7校）での設置工事を実施するとともに、小学校（8校）での設置工事の設計を実施します。</p>	
達 成 状 況	<p><b>【小牧南小学校改築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に引き続き改築工事を実施し、令和4年3月に校舎・体育館が竣工しました。</li> </ul> <p><b>【特別教室へのエアコン設置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エアコンがない小学校16校のうち7校の特別教室へのエアコン設置工事を実施しました。</li> <li>エアコンがない小学校16校のうち8校の特別教室へのエアコン設置工事に向けて、設計を実施しました。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧南小学校改築工事は、工事期間中、良好な教育環境の確保に努めるとともに、児童の安全確保や周辺住民への配慮にも努める必要があります。</li> <li>特別教室へのエアコン設置工事は、学校運営への支障が最小限となるよう、可能な限り、夏休み中に集中して施工する必要があります。</li> </ul>	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>小牧南小学校改築工事は、令和4年度に旧校舎・旧体育館の解体及び外構工事を実施し、完了する見込みです。</li> </ul>	
評 価 委 員 の 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>酷暑が当たり前となりつつあるので、エアコン設置は至急進めてください。</li> <li>地球温暖化の問題もあり、教室へのエアコン配備は早急に望まれます。安全に配慮されるとともに、短期間の設置工事が行われると良いです。</li> <li>地域の避難場所にもなる体育館へのエアコン設置の検討がされるとよいです。</li> <li>特別教室にエアコンがない学校があったと知り、驚きました。</li> <li>特別教室へのエアコンの設置は、非常に大切なことだと思います。引き続きの取組を期待します。</li> <li>小牧南小学校の新校舎・体育館が完成し、4月から運用開始されています。旧校舎と旧体育館が安全に解体されることを願っています。</li> </ul>	

**基本目標4 家庭・地域・学校との連携による教育の推進**

- ④ 家庭教育・地域教育を大切にし、地域ぐるみでの教育、子育て、青少年健全育成活動を展開します。
- ④ 家庭・地域・学校の連携を強化し、学校運営への多様な人材の参画・協力を推進します。

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	教育・保育の質の向上（施策16）		担当課
			幼児教育・保育課
内 容	第一幼稚園の公開保育、小牧市幼年期教育連携推進会議を通じ幼稚園、認定こども園、保育園、小中学校の連携を推進し、幼児期からの発達段階に配慮した心の教育の充実に努めます。		
達 成 状 況	<p>・第一幼稚園の公開保育や幼年期教育研修会を通して、幼保小中の連携を深めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第2回幼年期教育研修会はWEB研修で行いました。WEB研修では、幼児教育と小学校教育の滑らかな接続について、受容的な関わりを通して子ども一人ひとりの発達過程に応じた指導や支援について改めて考える機会となりました。</p>		
	幼年期教育連携推進会議(2回開催)	6月	・愛知県幼児教育研究協議会報告 ・意見交換
		1月	・第一幼稚園公開保育の振り返り ・今年度の活動のまとめと次年度への提言
	第1回幼年期教育研修会(講義) 『幼児教育と学校教育の連携』	幼稚園5 保育園13 小中学校9 その他2	計29名
	第一幼稚園公開保育 『興味・関心から深い学びへ』	幼稚園9 保育園15 小学校12 中学校6 その他10	計52名
第2回幼年期教育研修会 (動画配信によるWEB研修会) テーマ『幼児教育と小学校教育の滑らかな接続について～受容的な関わりを通して考える～』	幼稚園7 保育園23 小学校15 中学校8 その他3	計56名	

点検評価シート（令和3年度実績）

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を共有し、連携・協働して育んでいくために、引き続き関係機関が互いに理解を深める必要があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、認定こども園、保育園、小学校、中学校が連携をすることが重要であるため、講師の招へいや事例検討を通して、子どもたちの育ちや学びについての理解を深めていく必要があります。また、幼稚園、認定こども園、保育園における遊びの中での学びを、どのように小学校、中学校における学習の中での学びにつなげていくのか、具体的な実践方法について考えていきます。今後も関係機関に対し積極的に周知を行い、会議や研修への参加を促していきます。</li> </ul>
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開保育や研修会に小中学校の参加者も多く参加しており、連携が進んでいることがうかがえます。</li> <li>現場レベルでの機会や情報の共有を充実させていってください。</li> <li>教育の方法は、科学的な研究が進んでいて、新しい方法論が示されています。このような研究成果を応用して学びの充実が図られてほしいです。</li> <li>「遊びから学びへ」「幼児教育から学校教育へ」は、とても重要なテーマです。研修内容を各校の低学年担当教員にも伝えて、ぜひ日々の教育活動に活かせるとよいです。</li> <li>幼児教育での経験により、小学校入学後の生活力に差がみられるように思います。</li> <li>幼稚園・認定こども園・保育園・小中学校が連携することは非常に重要なことだと思います。引き続きの取組を期待します。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	放課後子ども総合プラン（施策18）		担当課 こども政策課																											
内 容	放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携して、共通プログラムを企画・運営する仕組みづくりを推進します。令和3年度は、市内2小学校でモデル事業を実施し、その評価・検証を踏まえて、令和4年度以降の事業計画を検討します。																													
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内2小学校でモデル事業を実施しました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 577 1412 965"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th rowspan="2">年間実施回数 内容</th> <th colspan="2">参加人数（延べ）</th> </tr> <tr> <th>放課後子ども教室</th> <th>児童クラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小牧小学校</td> <td>5回 折り紙、読み聞かせ、音楽鑑賞</td> <td>92人</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>光ヶ丘小学校</td> <td>3回 レクリエーション 音楽鑑賞、茶道</td> <td>65人</td> <td>57人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会においてモデル事業の評価・検証を行い令和4年度以降の事業計画を検討しました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="491 1061 1412 1305"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>実施日</th> <th>主な議題等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6月2日（水）</td> <td>関係者アンケートについて</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>11月24日（水）</td> <td>アンケートの報告について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>2月15日（火）</td> <td>令和3年度実施報告について 令和4年度事業について</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度のモデル事業実施を踏まえ、実施手順をマニュアルとしてとりまとめました。</li> <li>令和4年度は小牧・光ヶ丘小学校に加え三ツ渕・味岡・篠岡・小牧原小学校を加えた6校で行うこととしました。</li> </ul>				学校名	年間実施回数 内容	参加人数（延べ）		放課後子ども教室	児童クラブ	小牧小学校	5回 折り紙、読み聞かせ、音楽鑑賞	92人	91人	光ヶ丘小学校	3回 レクリエーション 音楽鑑賞、茶道	65人	57人	回数	実施日	主な議題等	第1回	6月2日（水）	関係者アンケートについて	第2回	11月24日（水）	アンケートの報告について	第3回	2月15日（火）	令和3年度実施報告について 令和4年度事業について
学校名	年間実施回数 内容	参加人数（延べ）																												
		放課後子ども教室	児童クラブ																											
小牧小学校	5回 折り紙、読み聞かせ、音楽鑑賞	92人	91人																											
光ヶ丘小学校	3回 レクリエーション 音楽鑑賞、茶道	65人	57人																											
回数	実施日	主な議題等																												
第1回	6月2日（水）	関係者アンケートについて																												
第2回	11月24日（水）	アンケートの報告について																												
第3回	2月15日（火）	令和3年度実施報告について 令和4年度事業について																												
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童クラブは、児童が増加傾向にある学校については、引き続き条例の基準を満たせるよう必要な対応を行う必要があります。</li> <li>従事者や活動場所の現在の確保状況では、国が示すような、すべての児童が放課後子ども総合プランに参加できる環境とすることは困難です。事業の円滑な実施のためには、現在の従事者だけでなく、外部のボランティア、有償の講師など様々な従事者を継続的に確保する仕組みづくりが必要です。</li> <li>放課後子ども総合プランで提供する活動内容は、児童、従事者ともに飽きたり疲弊したりしないように工夫する必要があります。</li> <li>様々な団体をつなぎ、助言を行い、放課後子ども総合プランを着実に実施する人材として配置したコーディネーターをより一層活用することが必要です。</li> </ul>																													

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業の評価・検証を通じて、令和5年度からの事業計画を検討します。</li> <li>・「放課後子ども総合プランコーディネーター」を中心に、事業運営の改善を図りながら、児童クラブと放課後子ども教室との共通プログラムの仕組みづくりを推進していきます。</li> </ul>
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの児童が参加できるよう、より一層の充実が求められます。</li> <li>・スタッフの専門性を高める機会を設け、よりよく場・プログラムが充実していけるように取り組んでください。</li> <li>・部活の学校からの独立化に伴い、こうした取組の充実が期待されます。大学生や大学院生のアルバイトなども考慮した人材の配置を考えていただきたいです。</li> <li>・従事者や講師の確保が難しい学校が出てくるかもしれません。</li> <li>・「こどもの居場所をつくろう」と小牧市のビジョンにあり、地域協議会の年2回のイベントや児童館のまつりなど、いろいろ行っていると思います。</li> <li>・引き続きの取組をお願いします。</li> </ul>

**基本目標5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり**

- ④ 誰もが、学びたいときに学びたいことを学ぶことができる環境を整備します。
- ④ 自らの学びを社会や地域に還元し役立てるようにするとともに、互いに学びあい育ちあう関係を創出します。

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	市民講座の実施（施策21）			担当課
				文化・スポーツ課 味岡・東部・北里市民センター
内 容	公募により市民が主体となつて行う市民企画講座を実施するとともに、多様な分野の学習機会を提供するために、各公民館の企画による市民講座を実施します。			
達 成 状 況	<b>【公民館企画講座】</b>			
	公民館名 (講座数)	回数	内容	延べ 受講者数
	市公民館 (10講座)	14回	草木染、靴メンテナンス、料理、苔ラマ、読み聞かせ、家庭菜園、認知症予防、自然環境、江戸時代の観光ガイド、フレイル予防	344人
	中部公民館 (5講座)	6回	わくわく天文講座(はやぶさ、ブラック星博士、星空鉄道)、こども天文講座(望遠鏡・星座早見盤作成)	270人
	東部市民センター (3講座)	3回	スマホ活用法、カリグラフィー、クラフトテープ	44人
	味岡市民センター (1講座)	1回	フラワーアレンジメント	21人
	<b>【市民企画講座】</b>			
	公民館名 (講座数)	回数	内容	延べ 受講者数
	市公民館 (14講座)	64回	水墨画、手芸、能楽、創作小説、組写真、エクササイズ、家庭料理、歴史、フラワーアレンジメント、ハーモニカ、快眠、オンライン英会話	800人
	中部公民館 (7講座)	35回	トランプ手品、ヨガ、足もみ、脳トレ、点字、着付	405人
	東部市民センター (6講座)	28回	色鉛筆画、タペストリー、クラフトテープ、片付け、体操、料理	412人
	味岡市民センター (7講座)	26回	篆刻、気功、スキンシップ、入浴、料理、体操、教育法	342人
	北里市民センター (6講座)	27回	歴史、こぎん刺し、背骨コンディショニング、フラワーアレンジメント、料理、合唱	362人

点検評価シート（令和3年度実績）

	◆市民講座年度別実績				
	項目		R3 年度	R2 年度	R 元年度
	市公民館	延べ受講者数	1,144 人	540 人	2,349 人
		講座数	24 講座	11 講座	27 講座
	中部公民館	延べ受講者数	675 人	345 人	819 人
		講座数	12 講座	5 講座	5 講座
	東部市民センター	延べ受講者数	456 人	342 人	848 人
		講座数	9 講座	7 講座	12 講座
	味岡市民センター	延べ受講者数	363 人	263 人	952 人
		講座数	8 講座	5 講座	12 講座
北里市民センター	延べ受講者数	362 人	208 人	809 人	
	講座数	6 講座	4 講座	10 講座	
市民企画講座において、オンラインの講座を実施しました。					
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の年齢構成に偏りがあり、高齢者が多く若い世代が少ない傾向が続いています。</li> <li>・平日の昼間の講座が多く、働く世代の参加が難しい状況となっています。</li> <li>・市民企画講座講師の企画する講座内容の分野に偏りがあり、歴史や文学など担い手が少ない分野があります。</li> <li>・社会問題や地域課題解決に関する講座への応募者が少なく、講座開催が困難となる場合があります。</li> </ul>				
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い世代の受講者を増やすため、親子向けの講座や、託児サービスを充実します。</li> <li>・これまでに実施していないジャンルや多彩な内容の講座を実施し、新規の受講者の参加につなげます。</li> <li>・平日の昼間に受講できない方のために、夜間や土日の講座を開催します。</li> <li>・公民館で活動するサークル・団体への働きかけや、こまき市民交流テラスとの連携により、担い手が少ない分野や新たな分野の市民企画講座講師の獲得に力を入れます。</li> <li>・社会問題や地域課題解決に関する講座は、内容を易しくしたり体験を取り入れたりするなど、親しみやすく参加しやすい講座となるよう工夫します。</li> </ul>				
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題や地域課題解決への応募者が少ないということですが、市民活動との連携も視野に入れて、多くの方に関心をもって学べる場を提供してください。</li> <li>・令和元年度に比べ、コロナの影響もあるでしょうが、受講者数が減少しています。今後とも幅広い世代が受けやすいテーマを準備すると同時に、ステップアップできるような講座もあるとよいです。</li> </ul>				

点検評価シート（令和3年度実績）

	<ul style="list-style-type: none"><li>・夜間や土日に開催する講座であれば、参加できる方も増えるのではないのでしょうか。</li><li>・主な募集手段が広報なので、若い世代は見えていないのではないのでしょうか。</li><li>・新規受講を増やすために見学会・体験会などを設けたら良いと思います。市民に人気の高い内容も講座としてあると良いと思います。気軽な気持ちで参加できる講座が増えれば、幅広い年代の方々も参加しやすいのではないかと思います。Zoomを活用した講座もあると良いと思います。</li></ul>
--	--

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	生涯学習を推進する人材育成講座の開催 (施策22)	担当課		
		文化・スポーツ課		
内 容	学びの成果を地域活動などにつなぐため、人材育成のための講座を開催し、地域の生涯学習活動のきっかけづくりに取り組みます。			
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても生涯学習活動を続けるためのツールの1つとして、オンライン講座に対応するための Zoom の基本的な使い方や、主催者（ホスト）となって開催する方法等を学ぶ講座を開催しました。</li> <li>・こまき市民交流テラスと合同で、講師の立場として活用できるファシリテーション技術や、SDGs についての講座を開催しました。</li> </ul>			
	開催日	内容	会場	受講者数
	10/31	オンライン講座対応のための Zoom 初心者講座	市公民館 視聴覚室	17名
	12/5	※持続可能な活動のカタチ ～みんなのチカラを引き出す ファシリテーション～	ワクティブこ まき アクティブル ーム	21名
	2/12	※SDGs で広げ、つながる、 市民の学びと実践	小牧市公民館 視聴覚室	27名
※はこまき市民交流テラス（ワクティブこまき）との連携事業				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン講座等、時代に即したオンラインツールやデジタル機器に対応できる人材が不足しています。</li> </ul>			
今後の取組 の 方 向 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまき市民交流テラスと連携講座を開催することにより、それぞれに関わりがある団体が参加し交流を持ち、活動の幅を広げることができるようにします。</li> <li>・生涯学習活動にオンラインを取り入れていくために、活用できる人材を育成する講座を開催します。</li> </ul>			
評 価 委 員 の 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインを取り入れた先進事例を積極的に発信・実施していただく。</li> <li>・オンライン講座を実施するために、それを活用できる人材を育成する講座を増やしていくと良いと思います。</li> </ul>			

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	レファレンスサービスの充実（施策23）	担当課 図書館								
内 容	市民の日常生活や趣味、仕事に関する様々な課題を解決するため、適切な資料や情報の提供に努めます。調べものに役立つデータベースの導入や「メールレファレンス」の実施など、レファレンスサービスを充実します。									
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館の開館に伴い、下表のとおりレファレンス件数が大幅に増加しました。</li> <li>サービスデスクや電話だけでなく、メールによるレファレンスを試行しました。</li> </ul> ○レファレンス件数 <table border="1" data-bbox="496 815 1334 1086"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6,383 件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4,320 件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14,002 件 (うちメールレファレンス：35 件)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>中日新聞や法律の情報など、データベース8種類を導入し、様々なジャンルの情報を閲覧できるようになりました。</li> <li>中央図書館が国立国会図書館のデジタル化送信サービスを受ける承認館となったことにより、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネットで公開されている資料のほかに、絶版等の理由により入手できない貴重な資料のデータの閲覧及び印刷が可能となりました。(印刷件数：111 件)</li> </ul>		年度	件数	令和元年度	6,383 件	令和2年度	4,320 件	令和3年度	14,002 件 (うちメールレファレンス：35 件)
年度	件数									
令和元年度	6,383 件									
令和2年度	4,320 件									
令和3年度	14,002 件 (うちメールレファレンス：35 件)									
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス件数が増加しているため、職員のレファレンススキルを向上させるとともに、利用者自身でも図書館資料を活用して調べものができるよう調べ方ガイドを整備する必要があります。</li> <li>データベースについては、導入から日が浅く、十分に活用されていないため、利用促進を図る必要があります。</li> </ul>									
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が、自分の調べたいテーマに関する資料や情報にたどり着くための調べ方を案内するリーフレット（パスファインダー）の作成に取り組みます。</li> <li>データベースの利用促進のため、PRを行うとともに、利用件数や利用者からの要望を参考とし、導入するデータベースを適宜見直します。</li> </ul>									

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>※パスファインダー（pathfinder）とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で「開拓者」「先駆者」の意味。図書館情報学において、特定のテーマに関する文献や情報の調べ方を提供するツールのこと。</li> </ul>
<p>評価委員 の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス件数が大幅に増加したことから、市民の期待が大きいことがうかがえます。</li> <li>・始まったばかりのサービスですが、職員のスキルで大いに結果が異なるものなので、ぜひスキルアップを期待します。</li> <li>・レファレンス件数の大幅な増加からも、市民の図書館への期待の高さがうかがえます。調べ方ガイドがわかりやすいものであることを期待します。</li> <li>・引き続きの取組をお願いします。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	生涯学習情報の発信（施策24）	担当課 文化・スポーツ課 味岡・東部・北里市民センター												
内 容	情報誌やホームページ、SNSなどを活用し、施設や団体の活動情報など、「こまき市民交流テラス」と連携して、最新の生涯学習情報の発信に努めます。													
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習グループの活動風景の写真や会員のコメントなどを掲載し、身近に感じ関心を持ってもらうよう工夫しています。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="475 577 1412 967"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 577 944 622">情報発信のツール</th> <th data-bbox="944 577 1412 622">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 622 944 676">情報ガイドこまなび</td> <td data-bbox="944 622 1412 676">・講座開催情報、実施状況</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 676 944 730">生涯学習サイトこまなび</td> <td data-bbox="944 676 1412 730">・生涯学習団体の活動紹介</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 730 944 828">各市民センター ホームページ</td> <td data-bbox="944 730 1412 828">・講師紹介</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 828 944 882">フェイスブック、ブログ</td> <td data-bbox="944 828 1412 882">・ロビー展示の紹介</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 882 944 967">こまき市民交流テラス ホームページ</td> <td data-bbox="944 882 1412 967">・生涯学習グループの活動紹介 ・講師紹介</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>「こまき団体情報ガイドブック」において市民活動団体・生涯学習団体・講師一覧を一元管理し、こまき市民交流テラスのホームページ・生涯学習情報サイトこまなびからアクセスできるようにしています。</li> </ul>		情報発信のツール	内容	情報ガイドこまなび	・講座開催情報、実施状況	生涯学習サイトこまなび	・生涯学習団体の活動紹介	各市民センター ホームページ	・講師紹介	フェイスブック、ブログ	・ロビー展示の紹介	こまき市民交流テラス ホームページ	・生涯学習グループの活動紹介 ・講師紹介
情報発信のツール	内容													
情報ガイドこまなび	・講座開催情報、実施状況													
生涯学習サイトこまなび	・生涯学習団体の活動紹介													
各市民センター ホームページ	・講師紹介													
フェイスブック、ブログ	・ロビー展示の紹介													
こまき市民交流テラス ホームページ	・生涯学習グループの活動紹介 ・講師紹介													
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の活動日や場所などの情報にとどまらず、活動風景や団体のPRポイントなど、幅広い視点で情報提供する必要があります。</li> <li>これまで生涯学習活動に馴染みのなかった市民にも、講座やイベントの情報を広く発信する必要があります。</li> </ul>													
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習団体の活動状況について、「情報ガイドこまなび」への掲載記事を増やし、市民がより多くの情報を得られる冊子となるよう工夫します。</li> <li>引き続きこまき市民交流テラスと連携しながら、生涯学習団体の活動状況や会員募集、市民企画講座の講師募集など、生涯学習情報を発信します。</li> <li>講座やイベントの告知の方法や場所等は、講座の対象者や世代に合わせて検討します。</li> </ul>													
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報ガイドこまなび」の紙面は魅力的で充実しています。</li> <li>ホームページなど、ネットで情報が得られることが、今後重要になると思われますので、充実していただけると良いです。</li> <li>情報ガイドこまなびは大変わかりやすくまとめられています。講座の申込みがLINEからもできると、より利便性が高まります。</li> <li>イベントの告知方法にLINEを活用すると良いと思います。</li> </ul>													

点検評価シート（令和3年度実績）

	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報誌やホームページ、SNSなどを活用したことは、とても良い取組だと思います。引き続きの取組を期待します。</li></ul>
--	--

**基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開**

- ④ 運動やスポーツを通して、あらゆる活動の土台となる基礎体力を育みます。
- ④ 生涯にわたって誰もがスポーツを楽しむことができる機会や環境をつくります。

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	スポーツ教室の開催（施策25）				担当課
					文化・スポーツ課
内 容	小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニングの基礎を身につけ、健康維持のために走れるようになることを目的として、ランニング・マラソン初級者向けの教室を開催しました。</li> </ul>				
	ランニング教室 (市スポーツ協会)	市内在住・在勤の方	11月6日(土)、7日(日)、 20日(土)、21日(日)、 23日(火・祝) 15:00~16:30	9名	38名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市スポーツ協会加盟競技団体と連携して、まなび創造館で子育て世代や幼児を対象としたスポーツ教室を開催しました。</li> </ul>				
	教室名	対象	実施日・時間	参加人数	延べ参加人数
	サッカー (市サッカー協会)	市内在住の園児(年少、年中、年長)	毎週木曜日 年少・年中 16:15~17:15 年長 17:30~18:30	年少9名 年中14名 年長14名	175名
ママ体操 (市体操連盟)	65歳未満の市内在住・在勤の女性	毎週水曜日 10:00~11:00	3名	88名	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニング教室は、申込者が減少傾向にあるので、運動不足になりがちな働く世代をターゲットとして走る楽しさを伝えていく必要があります。</li> <li>・サッカー教室は、コロナ禍にありながら参加者が増えています。幼児期のみで終わらせることなく、ジュニア育成活動や加盟団体のスポーツ教室などにつなげていく必要があります。</li> </ul>				

点検評価シート（令和3年度実績）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ママ体操は、新規申込者が減少傾向にあります。参加対象の範囲やPR方法を検討する必要があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、市民がスポーツに触れる機会を提供していきます。</li> <li>・ランニング教室は、ランニングの基礎を身につけ、走る楽しさに気づいてもらい、健康・体力の保持増進につなげてもらうとともに、同世代の市民との交流の場を提供できるよう工夫していきます。</li> <li>・ランニング人口を増やすことでシティマラソンや市民駅伝の参加者の増加とともに、健康意識の増進を目指します。</li> <li>・ママ体操は、参加対象をママから女性に広げ、女性の運動不足解消・仲間づくりを図ります。</li> </ul>
評価委員等の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者が減少している教室は、回数や日程など、参加しやすい工夫が必要です。</li> <li>・急にランニングはハードルが高いようですので、ウォーキング教室も開いたらいかがでしょう。</li> <li>・自分の周りでは「ランニングは敷居が高い。自信がない。ウォーキングなら参加しやすい。」という声が聞こえてきます。</li> <li>・LINEの活用や、妊娠届や母子手帳交付時に市の窓口でQRコードを利用して登録していただくと良いと思います。</li> <li>・ママ体操の年齢制限をなくしたことは良いと思います。サッカー教室も園児だけではなく、小学校1～3年くらいまで参加できるようにしたら良いと思います。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	こども対象のスポーツ教室の開催（施策26）				担当課																				
					文化・スポーツ課																				
内 容	こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。																								
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア体操教室～寺本明日香選手と体操しよう！～は、定員40名に対し280名を超える応募がありました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、かけっこ教室（低学年・高学年）、あそび親子運動教室が中止となりました。</li> </ul>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>対象</th> <th>実施日・時間</th> <th>参加人数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生初心者水泳教室</td> <td>小学2～6年生で25m泳げない子</td> <td>7月26日(月)～30日(金) 9:00～10:30</td> <td>31名</td> <td>145名</td> </tr> <tr> <td>あそび運動教室</td> <td>小学4～6年生</td> <td>8月7日(土) 9:30～11:30</td> <td>24名</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>ジュニア体操教室～寺本明日香選手と体操しよう！～</td> <td>小学1～3年生</td> <td>11月7日(日) 9:30～11:30</td> <td>39名</td> <td>39名</td> </tr> </tbody> </table>					教室名	対象	実施日・時間	参加人数	延べ参加人数	小学生初心者水泳教室	小学2～6年生で25m泳げない子	7月26日(月)～30日(金) 9:00～10:30	31名	145名	あそび運動教室	小学4～6年生	8月7日(土) 9:30～11:30	24名	24名	ジュニア体操教室～寺本明日香選手と体操しよう！～	小学1～3年生	11月7日(日) 9:30～11:30	39名	39名
	教室名	対象	実施日・時間	参加人数	延べ参加人数																				
	小学生初心者水泳教室	小学2～6年生で25m泳げない子	7月26日(月)～30日(金) 9:00～10:30	31名	145名																				
	あそび運動教室	小学4～6年生	8月7日(土) 9:30～11:30	24名	24名																				
ジュニア体操教室～寺本明日香選手と体操しよう！～	小学1～3年生	11月7日(日) 9:30～11:30	39名	39名																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟競技団体やスポーツ推進委員などと連携して小学校2年生から4年生を対象としたViVa!スポーツクラスを開催し、こどもたちが年間を通してさまざまな種目を楽しみながら体験しました。</li> </ul>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>対象</th> <th>実施日・時間</th> <th>参加人数</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ViVa!スポーツクラス</td> <td>あそViVa! : 小学2年生</td> <td>あそViVa! : 第1、3、5土曜日 10:00～11:30</td> <td>あそViVa! : 29名</td> <td>あそViVa! : 280名</td> </tr> <tr> <td>まなViVa! : 小学3、4年生</td> <td>まなViVa! : 第2、4土曜日 10:00～12:00</td> <td>まなViVa! : 30名</td> <td>まなViVa! : 315名</td> </tr> </tbody> </table>					教室名	対象	実施日・時間	参加人数	延べ参加人数	ViVa!スポーツクラス	あそViVa! : 小学2年生	あそViVa! : 第1、3、5土曜日 10:00～11:30	あそViVa! : 29名	あそViVa! : 280名	まなViVa! : 小学3、4年生	まなViVa! : 第2、4土曜日 10:00～12:00	まなViVa! : 30名	まなViVa! : 315名							
教室名	対象	実施日・時間	参加人数	延べ参加人数																					
ViVa!スポーツクラス	あそViVa! : 小学2年生	あそViVa! : 第1、3、5土曜日 10:00～11:30	あそViVa! : 29名	あそViVa! : 280名																					
	まなViVa! : 小学3、4年生	まなViVa! : 第2、4土曜日 10:00～12:00	まなViVa! : 30名	まなViVa! : 315名																					

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染対策として教室の定員を縮小したため、定員により参加できないケースがありました。</li> <li>・短期的な教室で終わらせることなく、継続して運動することができるよう、ジュニア育成活動や加盟団体のスポーツ教室などにつなげていく必要があります。</li> </ul>
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、新型コロナ感染対策を講じ、安心して教室に参加いただけるように周知を行います。</li> <li>・ViVa!スポーツクラスでは、加盟競技団体やスポーツ推進委員と連携し、こどもたちに体を動かすことの楽しさを知ってもらい、スポーツに関心を持ってもらうきっかけとなるよう取り組みます。</li> <li>・教室に参加したこどもたちにジュニア育成活動などの周知を行います。</li> </ul>
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者が多い教室が企画できていることは大きな成果であると思います。講師の調整が難しいかもしれませんが、こどもたちの受講機会が増えるとよいと思います。コロナの影響で中止になった教室があったのは残念でした。</li> <li>・今後ともこどもたちの育成を頑張ってください。</li> <li>・こどもたちが様々な種目を体験できる ViVa! スポーツクラスは、とてもよい取組です。ぜひ継続してください。</li> <li>・引き続きの取組を期待します。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業の実施（施策27）</p>	<p>担当課 文化・スポーツ課</p>
<p>内 容</p>	<p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて競技スポーツに対する市民の関心を高めるため、関連した事業を開催します。</p>	
<p>達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年8月15日（日）、パークアリーナ小牧にて東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式を行いました。「Share Your Light/あなたはきっと、誰かの光だ。」というパラリンピック採火式のコンセプトに基づき、この大会を契機に共生社会を実現し、人と人、人と社会との「新しいパートナーシップ」を考えるきっかけとするため、障がいのある方が働く市内4か所の飲食店の厨房から、聖火の種火を採火し、「小牧支え合いの火」として、同日行われた愛知県の集火式・出立式へ届けました。</li> <li>・採火式の様子は、動画で撮影したものを市ホームページで公開しました。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックへの気運を高めるため、市役所、パークアリーナ小牧にて、東京2020公式アートポスターの展示を行いました。</li> </ul>	
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、スポーツへの関心が高まりました。今後は、2026年に愛知県で開催が決定したアジア競技大会に向けて気運を醸成していく必要があります。</li> </ul>	
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年のアジア競技大会では、バレーボール競技がパークアリーナ小牧で予定されているため、実施に向けて必要な体制の整備を図ります。</li> <li>・パラリンピックの理念である共生社会の実現に向け、障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、障がいの有無にかかわらず、スポーツを楽しむ機会の提供に取り組みます。</li> </ul>	
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルなスポーツ大会との結び付きが、今後も継続できるように期待しております。</li> <li>・パークアリーナで開かれる2026アジア競技大会が、市内の子どもたちにとって、身近で記憶に残るものになるよう、今後検討・準備をしていただければと思います。</li> <li>・アジア競技大会、バレーの成功を祈ります。</li> <li>・とても良い取組だと思います。</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	スポーツ情報の提供（施策28）		担当課 文化・スポーツ課										
内 容	ウィズコロナにおける地域スポーツのあり方等について積極的に情報を提供し、市民の運動不足による健康二次被害を予防します。												
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページにて、コロナ禍での運動不足による健康二次被害を防ぐため、こどもを持つ家庭向け、高齢者向け、テレワークの方向けにページを作成し、日常生活で意識してできる運動の紹介を行いました。また、スポーツ推進委員だよりを発行し、各家庭にコロナ禍での運動の重要性について、情報の発信を行いました。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="448 734 1415 880"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>発行部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ推進委員だより (令和3年12月15日発行)</td> <td>5,750部（全区回覧）</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における地域スポーツについて学ぶため、地域スポーツ団体、スポーツ推進委員向けに研修会を開催しました。</li> </ul> <p>地域スポーツ団体マネジメント研修会</p> <table border="1" data-bbox="448 1122 1390 1267"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>実施日・時間</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コロナ禍における地域スポーツについて</td> <td>令和4年2月5日(土) 10:00~12:00</td> <td>30名</td> </tr> </tbody> </table>			名称	発行部数	スポーツ推進委員だより (令和3年12月15日発行)	5,750部（全区回覧）	テーマ	実施日・時間	参加人数	コロナ禍における地域スポーツについて	令和4年2月5日(土) 10:00~12:00	30名
名称	発行部数												
スポーツ推進委員だより (令和3年12月15日発行)	5,750部（全区回覧）												
テーマ	実施日・時間	参加人数											
コロナ禍における地域スポーツについて	令和4年2月5日(土) 10:00~12:00	30名											
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、スポーツに取り組む機会が減少しています。</li> <li>新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながらスポーツを楽しむことができるように、ウィズコロナにおけるスポーツのあり方等について情報を正しく発信していく必要があります。</li> <li>手軽に市民が情報を得られる機会をさらに増やしていく必要があります。</li> </ul>												
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページだけではなく、LINEやFacebookなどのSNSを活用した情報発信を行います。</li> <li>コロナ禍においても安心してスポーツ施設を利用してもらうため、施設の感染対策や利用制限などの情報をわかりやすく発信します。</li> <li>スポーツ推進委員や小牧市スポーツ協会と連携して、地域スポーツ団体や加盟競技団体へスポーツ情報を適切に伝えるとともに、地域スポーツ団体やスポーツ推進委員が必要とする知識を、研修会を通して学び、地域住民へ還元できるよう取り組みます。</li> </ul>												

点検評価シート（令和3年度実績）

評価委員 の意見等	<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツマネジメントの研修など、裾野を広げる活動を今後も続けていただきたいと思います。</li><li>・YouTubeも活用した取組があると良いのでは、と思います。</li><li>・SNSの活用により、情報がより広く伝わるとと思います。</li><li>・知りませんでした。自分もコロナで在宅・テレワークで4kg増えました。</li><li>・とても良い取組だと思います。SNSを活用した情報発信を、今後も続けていただけたらと思います。</li></ul>
--------------	---

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	スポーツ施設の適切な管理・運営（施策28）	担当課 文化・スポーツ課
内 容	スポーツ施設の適切な管理・運営の維持に向けて、指定管理の先進的事例等の情報収集に努めます。	
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の指定管理募集の参考とするため、募集要項、仕様書をはじめ、施設運営の参考となる他市の情報収集に努めました。</li> <li>・ (公財)小牧市スポーツ協会にて、4自治体の指定管理に係る先進的事例の視察を行い、その情報共有を行いました。</li> <li>・ 施設が適切に管理・運営されていることを確認するため、定期的なモニタリングを行いました。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者にとって施設がより利用しやすくなるよう指定管理者と連携・協力して、利用環境の改善や整備に努める必要があります。</li> </ul>	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理の更新に当たっては、よりよい施設の管理・運営が行われるよう仕様書等の見直しを行い、次期指定管理者を選定します。</li> <li>・ 利用者の利便性の向上を図るため、オンライン予約やキャッシュレス決済などの機能を持たせた新たな施設予約システムを構築します。</li> <li>・ 指定管理者と連携・協力して市民がより気軽にスポーツ活動ができる環境の整備に取り組みます。</li> </ul>	
評 価 委 員 員 の 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕様書の見直しにおいては、ぜひ市民の声が反映できるように進めてください。</li> <li>・ オンライン予約、キャッシュレス決済は、利用ニーズの裾野を広げるために必要不可欠です。</li> <li>・ オンライン予約、キャッシュレス決済など、ぜひ取り入れてください。</li> <li>・ 他市の具体的な先進事例があれば知りたいですし、問題がなければ、あるいは有効であれば小牧市にも導入する方向で進めていただきたいと思います。</li> <li>・ オンライン予約やキャッシュレス決済など、とても良いと思います。今後の取組に期待します。</li> </ul>	

**基本目標7 市民がともにつくる文化・芸術の振興**

- ④ 文化・芸術の鑑賞機会を充実するとともに、市民の創作活動を支援します。
- ④ 市民と様々な文化団体との連携により、文化振興活動を支える体制を整備します。

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	身近で良質な鑑賞機会の充実（施策29）	担当課 文化・スポーツ課												
内 容	こまき市民文化財団と連携し、バリアフリーコンサートやこまぶんフェスタなどの実施により、広く市民に良質な鑑賞機会を提供します。													
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧の地域性を生かし、同時代の芸術作品の展示等を地域で展開する企画として、こまきアートプロジェクト「点と点と線」を開催しました。身近に芸術文化に触れる機会となるよう、作品展示の他、鑑賞ツアーやワークショップ、講演会等、市民参加型のイベントとしました。</li> <li>・誰もが気軽に音楽を楽しむことができる音楽の祭典として「こまぶんフェスタ 2021-MUSIC ADDICT-」を開催しました。Youtubeで話題のアーティストによる公演等、普段会館に足を運ぶことが少ない若い世代にも親しんでもらえるような内容としました。</li> <li>・生涯にわたって音楽文化に親しみ、心豊かな人間性を育むきっかけとなることを目的として、幼稚園・保育園・こども園、小学校、中学校で、中部フィルハーモニー交響楽団による巡回演奏会を開催しました。</li> <li>・障がいのある方やその家族、介護施設の職員の方など、普段コンサートに足を運ぶことが難しい方でも気兼ねなく、安心して楽しめるコンサートとして「バリアフリーコンサート」を開催しました。</li> </ul> <p><b>【こまきアートプロジェクト「点と点と線」】</b></p> <table border="1" data-bbox="472 1532 1402 1680"> <tr> <td>開催日</td> <td>7月22日(木・祝)～8月1日(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>青年の家・歴史館・中央図書館・れきしるこまき</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>延べ2,980人</td> </tr> </table> <p><b>【こまぶんフェスタ 2021-MUSIC ADDICT-】</b></p> <table border="1" data-bbox="472 1776 928 1924"> <tr> <td>開催日</td> <td>8月22日(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>市民会館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>323人</td> </tr> </table>		開催日	7月22日(木・祝)～8月1日(日)	会場	青年の家・歴史館・中央図書館・れきしるこまき	来場者数	延べ2,980人	開催日	8月22日(日)	会場	市民会館	来場者数	323人
開催日	7月22日(木・祝)～8月1日(日)													
会場	青年の家・歴史館・中央図書館・れきしるこまき													
来場者数	延べ2,980人													
開催日	8月22日(日)													
会場	市民会館													
来場者数	323人													

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p><b>【幼稚園・保育園音楽鑑賞事業、小中学生オーケストラ演奏鑑賞事業】</b></p> <table border="1" data-bbox="472 237 1406 434"> <tr> <td>開催日</td> <td>6月～2月</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>市内 21 保育園、9 幼稚園、2 こども園、 2 小学校、3 中学校</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>延べ 5,708 人</td> </tr> </table> <p><b>【バリアフリーコンサート】</b></p> <table border="1" data-bbox="472 528 1406 680"> <tr> <td>開催日</td> <td>3月12日(土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>味岡市民センター</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>130人</td> </tr> </table>	開催日	6月～2月	会場	市内 21 保育園、9 幼稚園、2 こども園、 2 小学校、3 中学校	来場者数	延べ 5,708 人	開催日	3月12日(土)	会場	味岡市民センター	来場者数	130人
開催日	6月～2月												
会場	市内 21 保育園、9 幼稚園、2 こども園、 2 小学校、3 中学校												
来場者数	延べ 5,708 人												
開催日	3月12日(土)												
会場	味岡市民センター												
来場者数	130人												
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や性別、障がいの有無、子育てや介護の状況などにかかわらず、あらゆる人が等しく文化・芸術に親しむことのできる機会を提供する必要があります。</li> <li>・あらゆる人に文化や芸術が身近なものとなるよう、こまき市民文化財団が市民や地域と連携しつなげる仕組みや環境を整備する必要があります。</li> </ul>												
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の様々な場所に出向き展示や公演を行う事で、市民が身近に文化・芸術に触れることができるようにします。</li> <li>・福祉や教育など多様な分野と連携し、すべての市民に文化・芸術の鑑賞機会を届ける取組を進めます。</li> <li>・市民がボランティアやワークショップ等へ参加する機会をつくり、市民参加型とすることで、市民や地域とのつながりを創出します。</li> </ul>												
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉や教育との一層の連携を進めてください。</li> <li>・コンサートを毎週日曜の朝、無料でできるようになると良いです。</li> <li>・バリアフリーコンサートは、市内の他の地区でも開催ができると良いのではないのでしょうか。</li> <li>・子どもたちが文化に触れる良い機会だと思います。</li> <li>・とても良い取組だと思います。オンラインコンサートもあると良いと思います。今後の取組に期待します。</li> </ul>												

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	文化団体等の活動支援（施策31）	担当課 文化・スポーツ課
内 容	文化団体等の活動の活性化を図るため、文化団体の公演等に対して積極的に後援を行うとともに、市のホームページで告知をするなど広報支援を行います。	
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体等の活動に対し、計57件の後援を行いました。</li> <li>・後援を行った催しのうち、小牧市を拠点に活動している団体が市内で開催する催しの情報を市ホームページ、ホームページ内イベントカレンダーに掲載しました。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体と市民を結び、文化団体の活動の活性化及び市民の文化・芸術活動への参加の機会を拡大する必要があります。</li> </ul>	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体の普段の活動や活動成果の発表の場をホームページやSNSに掲載する等、広報支援を行います。</li> <li>・広く市民が参加できる催物については、応募方法を記載する等内容を充実させることで、市民が文化・芸術活動に参加しやすい環境づくりに取り組みます。</li> </ul>	
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体と市民の直接交流の場のような、市民の近くにある文化団体という感覚が持てるようになる時間や場所があると良いです。</li> <li>・引き続き広報支援をお願いしたいです。</li> <li>・知りませんでした。</li> <li>・引き続きの取組に期待します。</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	文化・芸術施設の環境整備（施策32）	担当課 文化・スポーツ課
内 容	鑑賞・創作・継承の拠点となる市内の文化施設において、施設の利便性が向上するよう、設備や機能の充実を検討します。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館・市公民館は昭和46年、中部公民館は昭和56年に建築され、老朽化が進んでいるため、施設を快適に利用していただけるよう設備等の改修・修繕を行いました。</li> </ul> <p><b>市民会館・市公民館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【階段手すり設置工事】 市公民館内西側の階段に高齢者や子供の利便性の向上と転倒防止の安全対策のため、2段式の手すりを設置しました。</li> <li>【屋上防水改修工事】 屋上防水シートの経年劣化が原因の雨漏りが広範囲で発生しているため、特に雨漏りが酷い部分の防水加工を更新しました。</li> <li>【ホールITV改修工事設計】 ホールITVは経年劣化により映像が低下し、舞台上の安全確認や演目の進行状況が確認できない状態であったため、デジタルシステムに更新する設計を行いました。工事時期は令和4年度を予定しています。</li> <li>【空調機改修工事設計】 熱源機の冷温水発生機が劣化し熱交換効率が低下しているため、更新する設計を行いました。設計に当たっては、エネルギーの効率的な利用を図るため、個別空調化を検討しました。工事時期は他の設備改修とあわせて行うよう検討しました。</li> </ul> <p><b>中部公民館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【屋上高架水槽下配管及び保温材取替修繕】 屋上にある高架水槽下の配管及び保温材が劣化していたため、取替修繕を行いました。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市公共施設長寿命化計画に基づき、目標耐用年数まで快適に施設を利用するため、また、利用者の多様なニーズに対応できるよう計画的に維持修繕を行う必要があります。</li> <li>・施設の利便性が向上するよう機能の充実についても検討する必要があります。</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

<p>今後の取組 の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5、6年度に休館を伴う大規模改修を行います。</li> <li>・施設の利便性向上のため、オンライン予約やキャッシュレス決済などの機能を持たせた新たな施設予約システムを構築します。</li> </ul>
<p>評価委員 の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修によって、市民にとってより親しみの持てる場になるよう工夫をお願いします。また休館中の代替施設の情報提供などもお願いします。</li> <li>・市民の声（ニーズ）を反映させた進捗を期待します。</li> <li>・施設のバリアフリー化は欠かせないことなので、以後も継続して行ってほしいです。</li> <li>・各施設が安心安全に利用できるよう、計画的に改修工事を進めていただき、ありがたく思います。</li> <li>・建物の修繕にはお金がかかりますが、老朽化しないために必要だと思います。</li> <li>・今後の取組に期待します。</li> </ul>

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 (教育振興基本 計画の施策番号)	文化財団の活動支援（施策32）	担当課																							
		文化・スポーツ課																							
内 容	こまき市民文化財団が、文化振興の推進、文化芸術の普及のため、質が高く柔軟な事業企画や、効率的・効果的な運営ができるよう支援を行います。																								
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまき市民文化財団に対して、人件費や事務費、事業費の補助及び文化事業の委託を行いました。</li> </ul>																								
	<p>【事業実績（一部）】</p> <p>学校へのアウトリーチ事業</p>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容 ( )内はアーティスト名</th> <th>分野</th> <th>訪問校</th> <th>対象学年</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">落語 (桂 宮治)</td> <td rowspan="3">落語</td> <td>小牧小学校</td> <td>6年生</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>一色小学校</td> <td>5年生</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>小牧南小学校</td> <td>5・6年生</td> <td>288人</td> </tr> <tr> <td>コンテンポラリーダンス (長井 江里奈、北園 優)</td> <td>ダンス</td> <td>篠岡中学校</td> <td>3年生</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table>				内容 ( )内はアーティスト名	分野	訪問校	対象学年	人数	落語 (桂 宮治)	落語	小牧小学校	6年生	115人	一色小学校	5年生	96人	小牧南小学校	5・6年生	288人	コンテンポラリーダンス (長井 江里奈、北園 優)	ダンス	篠岡中学校	3年生	48人
	内容 ( )内はアーティスト名	分野	訪問校	対象学年	人数																				
	落語 (桂 宮治)	落語	小牧小学校	6年生	115人																				
一色小学校			5年生	96人																					
小牧南小学校			5・6年生	288人																					
コンテンポラリーダンス (長井 江里奈、北園 優)	ダンス	篠岡中学校	3年生	48人																					
<p>主な公演事業</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駒来落語会 桂宮治真打昇進披露落語会</td> <td>221人</td> </tr> <tr> <td>こまぶんフェスタ 2021 -MUSIC ADDICT-</td> <td>323人</td> </tr> <tr> <td>たをやめオーケスタ ビッグバンドジャズコンサート</td> <td>208人</td> </tr> <tr> <td>吉田兄弟コンサート THE YOSHIDA BROTHERS</td> <td>612人</td> </tr> </tbody> </table>				公演名	来場者数	駒来落語会 桂宮治真打昇進披露落語会	221人	こまぶんフェスタ 2021 -MUSIC ADDICT-	323人	たをやめオーケスタ ビッグバンドジャズコンサート	208人	吉田兄弟コンサート THE YOSHIDA BROTHERS	612人												
公演名	来場者数																								
駒来落語会 桂宮治真打昇進披露落語会	221人																								
こまぶんフェスタ 2021 -MUSIC ADDICT-	323人																								
たをやめオーケスタ ビッグバンドジャズコンサート	208人																								
吉田兄弟コンサート THE YOSHIDA BROTHERS	612人																								
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する文化・芸術に、柔軟・弾力的に対応・活動できる体制が必要です。</li> <li>関係機関とスムーズな連携を図り、事業を企画できる体制が必要です。</li> </ul>																								
今後の取組 の 方 向 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の養成・資質向上のため、国や県等が実施する研修会等の開催情報を共有します。</li> <li>学校や関係機関との情報共有や調整を行い、こまき市民文化財団がより質の高い事業を企画できるよう支援します。</li> </ul>																								
評 価 委 員 の 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中でよく実施されました。今後も質の高い芸術活動の紹介を兼ねた事業の継続を望みます。</li> <li>「コンテンポラリーダンス」の事業を知りませんでした。どんな活動か勉強します。</li> <li>学校のアウトリーチは、今後も続けていってほしいと思います。</li> </ul>																								

**基本目標8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承**

- ☞ 郷土の歴史・文化に親しむことで、郷土への愛着や誇りを醸成します。
- ☞ 市民や関係機関と行政が協力し、郷土の歴史・文化遺産の保護、活用を進め、次世代へ継承します。

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	文化財の指定・保護（施策33）	担当課 文化財課
内 容	文化財保護審議会において、市内文化財の調査を行い、保護を進めます。	
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創建年1500年以前の寺院10件、小牧十観音に選ばれている寺院6件を文化財調査の対象として選出し、このうち、前者より3件、後者より1件の寺院について、11月に各寺院の本尊の他、所有絵画・仏像や境内にある石仏等を調査しました。</li> <li>・2寺院において所蔵されている2件の文化財について、江戸期の作品であるため、直ちに文化財指定するという判断とはなりませんでした。将来的に市の指定文化財として保護していくとよいと判断できる作品を確認しました。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象として選出した寺院のうち、未調査の寺院について、継続して文化財調査を実施していく必要があります。</li> <li>・調査において市の文化財として指定に値する物件を新たに発掘した場合は、所有者の理解を得て市の文化財に指定し、保護していく必要があります。</li> <li>・指定文化財とする対象ではない文化財についても、保護していきけるよう所有者に働きかける必要があります。</li> </ul>	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、調査先を選定して文化財調査を実施し、新たな文化財の発掘を行っていくとともに、内容に応じた適切な保護に努めます。</li> <li>・未指定の文化財であっても、保護していただけるよう所有者に働きかけていきます。</li> </ul>	
評 価 委 員 員 の 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して文化財の保護への取組を充実させてください。</li> <li>・文化財調査を引き続き実施することにより、小牧市の過去の文化の充実のありようが実感できるようにしてほしいです。</li> <li>・引き続きの取組により、文化財が保護され、市民にも周知されるようお願いします。</li> <li>・文化財は、寺院以外の民家にも、旧家などにあるかもしれません。</li> <li>・引き続きの取組に期待します。</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	古文書・歴史に関する講座等の開催（施策34）	担当課 文化財課																																																
内 容	古文書や歴史に関する講座等を開催します。幅広い世代が興味を持てるよう、内容の充実に努めます。																																																	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知文教大学に委託を行い、下記のとおり講座及び展示を開催しました。</li> <li>●講座                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化基礎講座                                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 35%;">演題</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 30%;">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月3日</td> <td>小牧に人が住み始めるまで</td> <td>川合剛氏</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>7月10日</td> <td>尾張地域の頭百姓について</td> <td>大塚英二氏</td> <td>65名</td> </tr> <tr> <td>7月17日</td> <td>名古屋築城と岩崎山</td> <td>原史彦氏</td> <td>102名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・子ども古文書寺子屋                                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">開催日</th> <th style="width: 30%;">講師</th> <th style="width: 25%;">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月31日、8月7日</td> <td>酒向道夫氏</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・歴史講座（第1回）                                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 35%;">演題</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 30%;">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月21日</td> <td>信長の父信秀と家康の父広忠</td> <td>平野明夫氏</td> <td>123名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・文化財巡り（北里地区）                                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 55%;">案内人</th> <th style="width: 30%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月7日</td> <td>篠田徹氏 ほか 文化財地図作成委員会委員</td> <td>17名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・古文書講座                                 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">内容</th> <th style="width: 35%;">開催日</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 30%;">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎</td> <td>11月27日、12月4日、11日、18日</td> <td>酒向道夫氏</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>実践</td> <td>1月15日、22日、29日、2月5日</td> <td>藤堂修一氏</td> <td>28名</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> </li> </ul>		開催日	演題	講師	受講者数	7月3日	小牧に人が住み始めるまで	川合剛氏	78名	7月10日	尾張地域の頭百姓について	大塚英二氏	65名	7月17日	名古屋築城と岩崎山	原史彦氏	102名	開催日	講師	受講者数	7月31日、8月7日	酒向道夫氏	7名	開催日	演題	講師	受講者数	8月21日	信長の父信秀と家康の父広忠	平野明夫氏	123名	開催日	案内人	参加者数	11月7日	篠田徹氏 ほか 文化財地図作成委員会委員	17名	内容	開催日	講師	受講者数	基礎	11月27日、12月4日、11日、18日	酒向道夫氏	28名	実践	1月15日、22日、29日、2月5日	藤堂修一氏	28名
開催日	演題	講師	受講者数																																															
7月3日	小牧に人が住み始めるまで	川合剛氏	78名																																															
7月10日	尾張地域の頭百姓について	大塚英二氏	65名																																															
7月17日	名古屋築城と岩崎山	原史彦氏	102名																																															
開催日	講師	受講者数																																																
7月31日、8月7日	酒向道夫氏	7名																																																
開催日	演題	講師	受講者数																																															
8月21日	信長の父信秀と家康の父広忠	平野明夫氏	123名																																															
開催日	案内人	参加者数																																																
11月7日	篠田徹氏 ほか 文化財地図作成委員会委員	17名																																																
内容	開催日	講師	受講者数																																															
基礎	11月27日、12月4日、11日、18日	酒向道夫氏	28名																																															
実践	1月15日、22日、29日、2月5日	藤堂修一氏	28名																																															

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>・古文書展講演</p> <table border="1" data-bbox="475 237 1414 338"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>演題</th> <th>講師</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月29日</td> <td>小牧宿あれこれ</td> <td>石田泰弘氏</td> <td>90名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・歴史講座（第2回～第5回）を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>※歴史文化基礎講座、歴史講座、古文書講座、古文書展講演については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年の1/2の定員としています。</p> <p>●こまき検定</p> <table border="1" data-bbox="475 768 1414 916"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月3日</td> <td>小牧市の歴史、地理等に関する問題30問</td> <td>32名（合格者26名）</td> </tr> </tbody> </table> <p>●展示  「新図書館開館記念 小牧の古文書展 ～江崎文書を中心に～」  期間 1月29日～2月6日  会場 小牧市中央図書館  入場者数 278名</p>	開催日	演題	講師	受講者数	1月29日	小牧宿あれこれ	石田泰弘氏	90名	開催日	内容	参加者数	11月3日	小牧市の歴史、地理等に関する問題30問	32名（合格者26名）
開催日	演題	講師	受講者数												
1月29日	小牧宿あれこれ	石田泰弘氏	90名												
開催日	内容	参加者数													
11月3日	小牧市の歴史、地理等に関する問題30問	32名（合格者26名）													
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の歴史や文化財について市民に周知を図り、貴重な文化財を後世へ継承するためのツールとして、歴史講座や古文書講座等の開催を継続する必要があります。一方で、講座の種類や内容が定着化し、例年開催の事業として市民への周知が進んだ半面、受講者も定着化しリピーターが増えている現状があるため、新規の参加者につなげる必要があります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、歴史講座を予定通り開催できなかったため、感染対策をしながら講座が開催できる方法を検討する必要があります。</li> </ul>														
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に小牧の歴史や文化財について周知するためには、リピーターの他に新規の受講者や若年層に多く受講してもらう必要があるため、講座内容の段階分けによる受講者の分散、若年層が興味・関心を持ちやすい講座やワークショップの開催、また、他講座との連携を検討していきます。</li> <li>・オンラインでの講座の開催方法等により、学習する機会の確保に努めるなど、受講しやすい環境の整備を検討します。</li> </ul>														

点検評価シート（令和3年度実績）

評価委員等の意見等	<ul style="list-style-type: none"><li>・小牧の歴史に関する講座・検定などの取組が充実しています。</li><li>・古文書に興味を持つ子どもたちが、未来の小牧の文化財等の保護活動に大きな希望となるでしょう。今後も継続して活動してほしいです。</li><li>・リピーターが増えていることは良いと思います。</li><li>・オンラインでの講座もあると良いと思います。若い方や子ども向けの講座もあると良いと思います。</li></ul>
-----------	--

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	主郭地区整備基本計画の推進（施策35）	担当課 小牧山課
内 容	平成20年度より実施している小牧山主郭地区の発掘調査成果をもとに、歴史館周辺を5つの工区に分け、順次史跡整備工事を行います。引き続き小牧山城の調査・研究を進めます。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 史跡整備工事第5工区（小牧市歴史館北側箇所）において3段の石垣復元を主とした史跡整備を行い、令和4年3月末に完了しました。</li> <li>・ 9～12月に主郭地区第2工区発掘調査を実施しました。</li> <li>・ 調査箇所は山頂南斜面の大手道沿いで面積は約90㎡です。</li> <li>・ 主郭に至る大手道の道幅がおよそ10mあることや、大手道の側壁が2段の石垣と人工的に切り立てられた岩の壁面で構成されることなどが明らかとなりました。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 史跡小牧山の山頂部での工事であり、作業スペースが限られているため、当初の作業計画を変更せざるを得ない場合があります。</li> <li>・ 主郭地区には貴重な遺構が分布していることが予想され、今後も史跡整備の設計に必要な地下遺構の情報を先行して調査する必要があります。</li> <li>・ 本計画に対する市民の関心、理解を深めていく必要があります。</li> </ul>	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度の完成を目標に、引き続き歴史館周辺の史跡整備工事を実施していくに当たり、工事監理業者や施工業者と作業計画について十分に協議・調整を行いながら進めていきます。</li> <li>・ 令和4年度は、主郭地区第3・4工区の発掘調査を実施するなど小牧山城の調査・研究を進めます。</li> <li>・ 市ホームページ、れきしるこまき（小牧山城史跡情報館）における展示及び現地公開等により、発掘調査や史跡整備の成果や今後の予定について、周知に努めます。</li> </ul>	
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き計画的に、整備工事・調査・研究を推進し、多くの市民が関心を持てるようにしてください。</li> <li>・ 信長の計画した小牧山城の姿が次第に明確になり、戦国時代の様相が変化していくのが楽しみな事業です。</li> <li>・ 引き続きの調査を期待します。広報「こまき」にも調査や整備の成果が載ると市民への周知が広がり、関心も高まると思います。</li> <li>・ 復元でも全国にアピールできると良いと思います。</li> <li>・ 引き続きの取組に期待します。</li> </ul>	

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	資料の展示や体験・講座による小牧山の歴史的価値や魅力の啓発（施策35）	担当課 文化財課																										
内 容	小牧山城史跡情報館において、最新の発掘調査成果の公表や企画展・ワークショップ等を開催することによって、来館者への小牧山の歴史的価値や魅力の啓発に努めます。																											
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者である（一財）こまき市民文化財団により、歴史講座や企画展を行いました。</li> <li>●れきしるこまき講座                     <table border="1" data-bbox="475 674 1385 1160" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 35%;">テーマ</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 30%;">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月4日</td> <td>岩崎城から見た小牧・長久手の戦い</td> <td>内貴健太氏</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>10月30日</td> <td>尾張徳川家と近代迎賓施設（創垂館）</td> <td>麓 和善氏</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>2月12日</td> <td>お城の写真撮影と、動画撮影の楽しみ方</td> <td>畠中和久氏</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>3月21日</td> <td>令和3年度史跡小牧山発掘調査成果報告</td> <td>小野友記子 （小牧山課職員）</td> <td>40名</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>●企画展                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小牧山城最前線！令和2年度発掘調査速報展」 期間 4月1日～5月9日 入場者数 6,396名</li> <li>・「尾張徳川家と小牧山園遊会」 期間 10月1日～11月3日 入場者数 4,491名</li> <li>・「小牧山城最前線！令和3年度発掘調査速報展」 期間 2月10日～3月21日 入場者数 4,641名</li> </ul> </li> <li>●れきしるこまきゴールデンウィーク企画                     <table border="1" data-bbox="475 1783 1385 1883" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 45%;">内容</th> <th style="width: 40%;">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月1日</td> <td>みる！しる！小牧山</td> <td>13名（保護者8名）</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>		開催日	テーマ	講師	受講者数	7月4日	岩崎城から見た小牧・長久手の戦い	内貴健太氏	40名	10月30日	尾張徳川家と近代迎賓施設（創垂館）	麓 和善氏	33名	2月12日	お城の写真撮影と、動画撮影の楽しみ方	畠中和久氏	35名	3月21日	令和3年度史跡小牧山発掘調査成果報告	小野友記子 （小牧山課職員）	40名	開催日	内容	受講者数	5月1日	みる！しる！小牧山	13名（保護者8名）
開催日	テーマ	講師	受講者数																									
7月4日	岩崎城から見た小牧・長久手の戦い	内貴健太氏	40名																									
10月30日	尾張徳川家と近代迎賓施設（創垂館）	麓 和善氏	33名																									
2月12日	お城の写真撮影と、動画撮影の楽しみ方	畠中和久氏	35名																									
3月21日	令和3年度史跡小牧山発掘調査成果報告	小野友記子 （小牧山課職員）	40名																									
開催日	内容	受講者数																										
5月1日	みる！しる！小牧山	13名（保護者8名）																										

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>●れきしるこまき夏休み企画</p> <table border="1" data-bbox="475 237 1385 398"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月29日、30日 8月1日、20日、21日</td> <td>夏休み自由研究☆レキシルお助け隊</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>●れきしるこまきワークショップ</p> <table border="1" data-bbox="475 497 1385 1066"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月25日</td> <td>小牧山城の発掘品にふれてみよう</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>8月7日</td> <td>小牧山城石垣ジオラマをつくろう</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>秋の小牧山 大人のわくわく史跡探検</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>1月30日、2月6日</td> <td>木の実でつくろう足軽人形</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>2月20日</td> <td>発掘品模型と花押缶バッジを作ろう</td> <td>21名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	受講者数	7月29日、30日 8月1日、20日、21日	夏休み自由研究☆レキシルお助け隊	25名	開催日	内容	受講者数	7月25日	小牧山城の発掘品にふれてみよう	22名	8月7日	小牧山城石垣ジオラマをつくろう	14名	11月28日	秋の小牧山 大人のわくわく史跡探検	30名	1月30日、2月6日	木の実でつくろう足軽人形	68名	2月20日	発掘品模型と花押缶バッジを作ろう	21名
開催日	内容	受講者数																							
7月29日、30日 8月1日、20日、21日	夏休み自由研究☆レキシルお助け隊	25名																							
開催日	内容	受講者数																							
7月25日	小牧山城の発掘品にふれてみよう	22名																							
8月7日	小牧山城石垣ジオラマをつくろう	14名																							
11月28日	秋の小牧山 大人のわくわく史跡探検	30名																							
1月30日、2月6日	木の実でつくろう足軽人形	68名																							
2月20日	発掘品模型と花押缶バッジを作ろう	21名																							
<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方にご来場いただけるよう、指定管理者等と連携しながら小牧山城の歴史や魅力を発信する方法を検討する必要があります。</li> <li>・小牧市歴史館の外観である「城」形と展示内容が合致しておらず、来訪者のニーズへの対応を再考する必要があります。</li> </ul>																								
<p>今後の取組の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者である（一財）こまき市民文化財団において、企画展やワークショップ等を開催するのをはじめ、（一社）小牧市観光協会とも連携して、施設のPRに努めます。</li> <li>・ガイダンス施設としての機能を果たすべく、小牧山城主郭地区の最新発掘調査による成果の公表や企画展をれきしるこまき（小牧山城史跡情報館）で開催することによって、小牧山城の歴史的価値や魅力を来場者に情報発信します。</li> <li>・小牧市歴史館とれきしるこまき（小牧山城史跡情報館）で史跡小牧山のガイダンス機能の分担を検討し、来訪者のニーズに沿った内容に改修します。これに伴い、郷土の歴史に関する展示等施設の設置を検討していきます。</li> </ul>																								
<p>評価委員の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育との連携も充実することが望まれます。</li> <li>・小牧山関連資料の管理と研究のために、れきしるこまきに学芸員を配置した方が望ましいです。</li> <li>・わが町の歴史をいろいろな視点から捉えることのできる興味深い</li> </ul>																								

点検評価シート（令和3年度実績）

	<p>講座が大人向きにも子ども向きにも準備されていました。今後にも期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後のいろいろな企画を楽しみにしております。</li><li>・引き続きの取組に期待します。</li></ul>
--	---

点検評価シート（令和3年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	歴史ガイドボランティアと連携した展示品・文化財の解説（施策37）	担当課 文化財課
内 容	小牧山城史跡情報館を拠点として、歴史ガイドボランティアによる展示資料や小牧山の解説を行います。	
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者である（一財）こまき市民文化財団により、歴史ガイドボランティアによる展示資料解説を行う予定でしたが、令和3年5月、6月、8月、9月の緊急事態宣言期間中に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小牧市歴史館及びれきしるこまき（小牧山城史跡情報館）を休館しました。</li> <li>・また、通常開館中も、一度に入館できる人数を30人に制限しました。</li> <li>・令和3年度は展示資料の解説等は11月より再開しました。</li> <li>・歴史ガイドボランティアは定期的に勉強会を実施しています。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧山城の最新の発掘調査成果や主郭地区整備の状況等に関する、ガイドボランティアのもつ情報の均質化を図る必要があります。</li> </ul>	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きガイドボランティア体制の見直しやガイドのレベルの向上を目指した研修の実施等を行います。</li> </ul>	
評 価 委 員 員 の 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドボランティアの解説の基礎となる発掘結果や文献研究を行う人員の配置がれきしるこまきに必要なのではないでしょうか。</li> <li>・ガイドボランティアの研修については、展示品や文化財への知識と、人に伝える技能の両面を研修されるとよいのではと思います。</li> <li>・ガイドの知識レベルが同じで、同内容のガイドが望ましいと思います。</li> <li>・良い取組だと思います。コロナとうまく両立できる方法に期待します。</li> </ul>	